

令和9年度

総合型選抜Ⅰ 学生募集要項

自然災害の発生や感染症の流行等による

入学試験の実施について

自然災害の発生や感染症の流行等によって、入学試験の実施が懸念されるときは、本学のWebサイトで試験開始時刻の繰り下げや、試験の中止・延期、選抜方法の変更等の対応をお知らせしますので、定期的にWebサイトで確認してください。

受験情報サイト (URL)

<https://juken.ehime-u.ac.jp>



愛媛大学
EHIME UNIVERSITY

総合型選抜 I の試験日程等一覧

学部	学科・コース等		募集人員 (人)	出願情報の 登録期間	検定料の 支払期間 及び 出願書類の 提出期間	試験期日	合格者 発表	入学手続 期間	出願 要件等 及び 選抜方法						
教育学部	学校教育実践 コース	特別支援教育 サブコース	10	9月7日 ∩ 9月25日	9月18日 ∩ 9月25日	10月17日 ∩ 10月18日	11月4日	11月4日 ∩ 11月16日	23ページ 参照						
		小学校教育 サブコース							23ページ 参照						
	初等 中等 教科 コース	言語社会教育 サブコース													
		科学教育 サブコース													
		生活健康・芸術教育 サブコース													
社会共創学部	産業イノベーション学科		12	9月7日 ∩ 9月25日	9月18日 ∩ 9月25日	10月17日 ∩ 10月18日	11月4日	11月4日 ∩ 11月16日	25ページ 参照						
	環境デザイン学科		15						25ページ 参照						
	地域資源マネジメント学科		15						25ページ 参照						
医学部	看護学科	総合型 I A (地域特別枠) ※	10	8月21日 ∩ 9月11日	9月1日 ∩ 9月11日	【第1次選抜】 10月3日 【第2次選抜】 10月24日 ∩ 10月25日	【第1次選抜】 10月16日 【第2次選抜】 11月4日	11月4日 ∩ 11月16日	28ページ 参照						
		総合型 I B (社会人枠)	若干人						28ページ 参照						
工学部	工学科	機械工学コース	2	9月7日 ∩ 9月25日	9月18日 ∩ 9月25日	10月17日	11月4日	11月4日 ∩ 11月16日	31ページ 参照						
		知能システム学コース	1						31ページ 参照						
		化学・生命科学コース	10						31ページ 参照						
		海事産業特別コース	4						31ページ 参照						

※医学部看護学科学学校推薦型選抜 II と医学部看護学科総合型選抜 I の併願は認めない。

出願方法

総合型選抜 I への出願は、出願期間内に、インターネットで行い、併せて、出願書類を本学に郵送してください。

なお、出願前に、動画「インターネット出願の使い方」を視聴し、インターネット出願の操作方法を理解してから、出願してください。

インターネット出願サイト (URL)

<https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/online-application/>



目次

1.	アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）、選考方法の趣旨	1
2.	総合型選抜 I の概要	6
3.	募集人員	6
4.	出願要件	7
5.	出願方法及び出願手続	9
(1)	出願方法（インターネット出願）	9
(2)	出願受付期間	9
(3)	出願書類の送付先	9
(4)	出願から受験までの流れ	10
(5)	出願書類入力上の注意	16
(6)	受験票等のダウンロード・印刷	22
(7)	検定料の返還	22
(8)	注意事項	22
6.	選抜方法等	23
	教育学部 学校教育教員養成課程 教育発達実践コース 特別支援教育サブコース	23
	小学校教育サブコース	23
	初等中等教科コース 言語社会教育サブコース	23
	科学教育サブコース	23
	生活健康・芸術教育サブコース	23
	社会共創学部 産業イノベーション学科	25
	環境デザイン学科	25
	地域資源マネジメント学科	25
	医学部 看護学科 総合型 I A	28
	// 総合型 I B	28
	工学部 工学科 機械工学コース	31
	// 知能システム学コース	31
	// 化学・生命科学コース	31
	// 海事産業特別コース	31
7.	試験期日及び試験時間	34
8.	合否判定基準	35
9.	受験上の注意	35
10.	合格者発表等	36
11.	留意事項	37
12.	合理的配慮を希望する入学志願者の出願	37
13.	入学手続き及び初年度の諸経費	38
14.	試験場・試験場案内・交通機関案内	39
15.	入学試験個人成績の開示	42
16.	試験問題、正解又は解答例、出題意図の公表について	42
17.	個人情報の取扱い	43
18.	入学試験に関する照会先	43
19.	入試情報サービス	44
20.	「入試過去問題活用宣言」への参加	45

1 アドミッション・ポリシー (入学者受入の方針)、選考方法の趣旨

教育学部

アドミッション・ポリシー (入学者受入の方針)

教育とは次世代を創造する営みです。教育学部は子どもの心を深く理解し、幅広い教養と実践的指導力、現代的課題解決能力、専門性を兼ね備えた教員の養成を目指しています。本学部は、教員養成学部としての重要性を自覚し、教育発達実践コース（幼年教育サブコース、小学校教育サブコース、特別支援教育サブコース）、初等中等教科コース（言語社会教育サブコース、科学教育サブコース、生活健康・芸術教育サブコース）からなる各コースの特徴ある専門教育を実施しています。「人を育む」という観点から、多様化・複雑化する教育課題に的確に対応できる人材を育成し、社会に送り出します。この目的のために、次のような資質・能力を有する学生を求めます。

1 入学後の修学に必要な基礎学力としての知識や実技能力を有している。

(知識・理解)

①高等学校等で履修する国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語、情報などについて、内容を理解し、高等学校卒業相当の知識を有している。

(知識・理解、技能)

②教員養成カリキュラムを履修するのに必要な、教科にかかわる知識や、体育、音楽、美術などの実技能力を有している。

(思考・判断・表現)

2 物事を多面的かつ論理的に思考・判断することができ、自分の考えを的確に表現し、伝えることができる。

(興味・関心・意欲)

3 子どもの育ちや教育にかかわる諸問題に深い関心をもち、教師として社会に主体的に貢献する意欲を明確に有している。

(態度)

4 積極的に多様な他者と協働し、対話を通して主体的に相互の理解に努めようとする態度を有している。

学校教育教員養成課程のアドミッション・ポリシー

幼児・児童・生徒の発達や学習、障害などの様々な教育的ニーズに対して幅広い興味と関心をもち、教育に関する諸問題について、自ら積極的に解決し、教師として社会に貢献しようとする意欲のある人を求めています。教育や発達、教科、障害などに関する課題を積極的に探究し、解決に向けて自ら思考し、対話を通して相互理解に努めようとする人、個々の子どものニーズに柔軟に対応し、すべての子どもたちが輝く教育の創造に努めようとする人の入学を期待します。

選考方法の趣旨

【総合型選抜Ⅰ】

卒業後、愛媛県で教職に就き、特に人口減少が著しい地域において地域創生に貢献する強い目的意識、勉学意欲、基礎的知識等があるかを確認するとともに、それらを自らの言葉で伝えられる自己表現力やコミュニケーション能力をみるために、面接試験を課しています。また、高校生活における活動歴等を踏まえ、関心、意欲、態度等をみるために、調査書、活動報告書等を課しています。

社会共創学部

【産業イノベーション学科 (海洋生産科学コース、紙産業コース、ものづくりコース)】

アドミッション・ポリシー (入学者受入の方針)

(知識・理解)

1 高等学校等で履修する国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語、情報などに関して、高等学校卒業相当の基礎知識と理解力を有している。

(思考・判断)

2 目標を達成するために、産業に関わる様々な事象を多面的に考察し、論理的・総合的な考え方と判断ができる。

(興味・関心・意欲・協働)

3 地域社会の持続可能な発展と水産・農業・工業・商業分野に関心を持ち、水産業・紙産業・ものづくり産業等の産業イノベーションに積極的に関わろうとする意欲と熱意を有している。

4 様々な人々と協働しながら、産業の問題の発見と課題の解決に主体的に取り組む姿勢を有している。

(技能・表現)

5 他者の意見を理解し、自己の考えを口頭又は文書でわかりやすく表現できる。

選考方法の趣旨

高等学校等で履修する範囲の知識や多面的な視点から論理的に考察することができる思考、表現力をみるために、小論文を課しています。また、関心、知識、思考、判断、意欲、協働、表現力等を総合的にみるために、面接とグループディスカッションを課しています。さらに、高校生活における活動歴等を踏まえ、意欲、能力、関心等をみるために、志望理由書、調査書、活動報告書を課しています。

【環境デザイン学科】

アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

(知識・理解)

1 高等学校等で履修する国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語、情報などに関して、高等学校卒業相当の基礎知識と理解力を有している。

(思考・判断)

2 目標を達成するために、多面的視点から論理的に考察し、自己の考えをまとめることができる。

(興味・関心・意欲・協働)

3 環境サステナビリティや地域デザイン・防災に関心を持ち、次世代の持続可能な地球環境や地域社会の実現に積極的に関わろうとする意欲を有している。

4 社会全体の利益に資する公共心を持って、様々な人々と協働しながら熱意を持って地域社会の課題解決に取り組む姿勢を有している。

(技能・表現)

5 他者の意見を理解し、自己の考えをわかりやすく表現できる対話力を有している。

選考方法の趣旨

高等学校等で履修する範囲の知識や多面的な視点から論理的に考察することができる思考、表現力をみるために小論文を課しています。また、環境デザインに関する関心、知識、思考、判断、意欲、協働、表現力等を総合的にみるために、面接とグループディスカッションを課しています。さらに、高校生活における活動歴等を踏まえ、意欲、能力、関心等をみるために、志望理由書、調査書、活動報告書を課しています。

【地域資源マネジメント学科】

アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

(知識・理解)

1 高等学校等で履修する国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語、情報などに関して、高等学校卒業相当の基礎知識と理解力を有している。

(思考・判断)

2 目標を達成するために、地域資源や地域社会に関わる様々な事象を、多面的視点から論理的に考察し、

自己の考えをまとめることができる。

(興味・関心・意欲・協働)

3 地域資源の活用や地域社会の持続可能な発展に関心を持ち、積極的に関わろうとする意欲を有している。

4 様々な人々と協働しながら、問題の発見と課題の解決に主体的に取り組む姿勢を有している。

(技能・表現)

5 他者の意見を理解し、自己の考えを口頭又は文書でわかりやすく表現できる。

選考方法の趣旨

高等学校等で履修する範囲の知識や多面的な視点から論理的に考察することができる思考、表現力をみるために、小論文を課しています。また、地域資源や地域社会に関する関心、知識、思考、判断、意欲、協働、表現力等を総合的にみるために、面接とグループディスカッションを課しています。さらに、高校生活における活動歴等を踏まえ、意欲、能力、関心等をみるために、志望理由書、調査書、活動報告書を課しています。

医 学 部

アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

愛媛大学医学部では、愛媛大学学生として期待される能力（愛大学生コンピテンシー）を備え、医学部の基本理念である「患者から学び、患者に還元する教育、研究、医療」を実践できる医療人の育成を目指しています。そのため、基本的な知識・技能・思考力・判断力・表現力と人間の尊厳を重んじる豊かな人間性を備えた入学者に対して、幅広い教養、生命に対する深い慈しみに裏打ちされた生命倫理、そして生命の尊厳に基づいた医学・看護学教育を行っています。加えて、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を身につけている入学者が、進歩する医学・医療を生涯にわたり学習し続ける能力を磨くために、大学や学部を超えたグループによる課題探究型の教育にも力を入れています。さらに、地域医療を含む日本の保健・医療・福祉だけでなく、研究や行政において国際的に貢献できる人材の育成を目指し、一般選抜に加えて、学校推薦型選抜、総合型選抜や編入学などの様々な選抜方法を採用しています。そこで、医学部では次のような資質を有する学生を求めます。

(知識・技能・思考力・判断力・表現力)

1 入学後の修学に必要な基礎学力を有している。

2 自分の考えや行動に責任を持ち、それを相手に明確に示すことができる。

(主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度)

3 人が好きで、生命に対する倫理観がしっかりしている。

4 医学・医療に対する目的意識と関心が高く、この分野に貢献したいという意欲と情熱を持っている。

5 入学後も、生涯にわたって自己啓発・自己学習・自己の健康増進を継続する意欲がある。

6 幅広い人間性、柔軟性と協調性を有し、多様な人々と協働して良好な関係を保つことができる。

看護学科のアドミッション・ポリシー

愛媛大学医学部看護学科では、愛媛大学学生として期待される能力（愛大学生コンピテンシー）を備え、医学部の基本理念である「患者から学び、患者に還元する教育、研究、医療」を実践できる医療人の育成を目指しています。そのため、基本的な知識・技能・思考力・判断力・表現力と人間の尊厳を重んじる豊かな人間性を備えた入学者に対して、幅広い教養、生命に対する深い慈しみに裏打ちされた生命倫理、そして生命の尊厳に基づいた看護学教育を行っています。加えて、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を身につけている入学者が、進歩する看護学・医療を生涯にわたり学習し続ける能力を磨くために、学科内あるいは学部や大学を超えたグループによるチーム基盤型学習の教育にも力を入れています。さらに、地域医療を含む日本の保健・医療・福祉だけでなく、研究や行政において国際的に貢献できる人材の育成を目指し、一般選抜に加えて、総合型選抜（地域特別枠、社会人枠）、学校推薦型選抜を採用しています。そこで、看護学科ではカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）およびディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）に定める教育を受けるために最低限必要な、次のような資質を有する学生を求めます。

(知識・技能)

1 入学後の修学に必要な基礎学力を有している。

[総合型選抜 I A (地域特別枠)] [総合型選抜 I B (社会人枠)]

1-1) 長文の和文と英文の文章を理解し、その内容およびそれに関連した事項について、受験時までの学習や経験を踏まえつつ自らの考えを日本語で適確に表現できる。

2 高等学校等までの学修や生活体験を通して、人と人の暮らしに関する知識を獲得している。

(思考力・判断力・表現力)

3 自分の考えや行動に責任を持ち、それを相手に明確に示すことができる。

4 物事の中から問題を見出し、解決方法を探り、問題解決に向けて行動することができる。

5 情報をもとに自分の考えを形成し、その考えを伝え合って多様な考えを理解し、考えを深めることができる。

6 物事をさまざまな視点からとらえ、新しい意味や価値を生み出すことができる。

(主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度)

7 人が好きで、人、人の暮らしや命、看護に高い関心がある。

8 将来、看護職等として医療に貢献したい目的意識と情熱がある。

[総合型選抜 I A (地域特別枠)]

8-1) 中山間地域や離島などの地域医療に強い関心をもち、将来、愛媛県内の地域医療のリーダーとして貢献することに高い使命感を持っている。

[総合型選抜 I B (社会人枠)]

8-1) 看護に強い関心をもち、将来、社会人として人の暮らしや医療に貢献することに高い使命感を持っている。

9 周囲の人と良好な関係を自主的に形成していくことができる。

10 多様な人々の考え方や価値観を尊重し、互いのよさを生かして協働できる。

選考方法の趣旨

【総合型選抜 I A (地域特別枠)】

将来的に、地域のリーダーとして、人の一生涯の暮らしを支える看護を牽引する人材の育成を目指し、高等学校等において修得した基礎的な知識・技能、それらを活用する思考力・判断力・表現力等の能力、主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度などを、多面的・総合的に評価する入学者選抜を行います。

個別学力検査では、高等学校レベルの基礎学力の評価のために、文章の内容や意味を正しく捉え、内容を論理的に考察し、自分の考えを論理的にまとめて表現できる能力を持った学生を選抜するために、和文と英文による小論文試験(解答は和文による)を課しています。また、中山間地域や離島などに住む人や人の暮らし及び看護に関する関心、知識、思考力、表現力等を総合的にみるために、課題レポート及びプレゼンテーションを課しています。

個人面接では、出願書類(志望理由書、調査書、活動報告書)を含めて評価します。また、アドミッション・ポリシーに基づき、高等学校等や学校外での様々な活動について質問し、卒業後は愛媛県の中山間地域や離島などの地域医療に貢献できる看護の専門職を目指すという強い目的意識や情熱、社会性や協調性、思考力や表現力を有していることを確認します。入学後の学習では、実際に地域で暮らす人々や、病院・施設・在宅で療養している多くの人々と関わることからの学びが重要になります。そのため、人との関わりが好きで、中山間地域や離島などに住む人や人の暮らしに関する関心や知識があることを確認します。

【総合型選抜 I B (社会人枠)】

これまでに修得した基礎的な知識・技能、それらを活用する思考力・判断力・表現力等の能力、主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度などを、多面的・総合的に評価する入学者選抜を行います。

個別学力検査では、高等学校レベルの基礎学力の評価のために、文章の内容や意味を正しく捉え、内容を論理的に考察し、自分の考えを論理的にまとめて表現できる能力を持った学生を選抜するために、和文と英文による小論文試験(解答は和文による)を課しています。また、人や人の暮らし、看護に関する関心、知識、思考力、表現力等を総合的にみるために、課題レポート及びプレゼンテーションを課しています。

個人面接では、出願書類(志望理由書、調査書、活動報告書)を含めて評価します。また、アドミッション・ポリシーに基づき、これまでの生活や職務上の体験について質問し、社会人として人の暮らしや医療への貢献を目指すという強い目的意識や情熱、社会性や協調性、思考力や表現力を有していることを確認します。入学後の学習では、実際に地域で暮らす人々や、病院・施設・在宅で療養している多くの人々と関わることからの学びが重要になります。そのため、人との関わりが好きで、人や人の暮らしに関する関心や知識があ

ることを確認します。

工 学 部

アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

工学部では、工学・技術の分野で技術者・研究者等として国内外で活躍できる人材の育成を目指します。そのため、工学部では次のような人物を求めます。

(知識・理解)

1 本学科の専門分野を学ぶために必要な、高等学校卒業レベルの基礎学力を有している。

(思考・判断、技能・表現)

2 物事を多面的に考察し、論理的にまとめ表現することができる。

3 自分の考えを他者にわかりやすく伝えることができる。

(興味・関心・意欲、態度)

4 工学の分野に興味を持ち、習得した知識・技術を地域社会あるいは国際社会に役立てたいと考えている。

(主体性・多様性・協働性)

5 主体的に多様な経験を得ようとする意欲を有している。

6 多様な他者と関わり、相互理解に努めようとする協働性やコミュニケーション能力を有している。

選考方法の趣旨

(機械工学コース)

【総合型選抜Ⅰ】

高等学校で履修する基礎的な学力を調査書により判断します。機械の設計で特に重要となる数学と物理の基礎学力を測るために口頭試問を課しています。また、「ものづくり」の経験、興味、向上心、社会と技術の関係への関心、コミュニケーション力をみるために面接を課しています。さらに、志望理由書・調査書及び活動報告書により、工学分野への興味・学習意欲、主体性・協働性等を評価します。

(知能システム学コース)

【総合型選抜Ⅰ】

高等学校で履修する基礎的な学力を調査書により判断します。知能システムの設計で特に重要となる数学と物理の基礎学力を測るために口頭試問を課しています。また、「ものづくり」の経験、興味、向上心、社会と技術の関係への関心、コミュニケーション力をみるために面接を課しています。さらに、志望理由書・調査書及び活動報告書により、工学分野への興味・学習意欲、主体性・協働性等を評価します。

(化学・生命科学コース)

【総合型選抜Ⅰ】

志望理由書・調査書・活動報告書によって、高等学校等で履修する範囲の知識、論理的に考えて組み立てる能力、自身の考えを適切に表現する力を評価します。面接では、口頭試問によって化学・生命科学を学ぶ上で特に重要である化学に関する基礎学力を評価します。また、化学技術や生命科学に対する興味・学習意欲、主体性・協働性等を総合的に評価します。

(海事産業特別コース)

【総合型選抜Ⅰ】

高等学校で履修する基礎的な学力を調査書により判断します。数学と物理の基礎学力を測るために口頭試問を課しています。また、海事産業分野への興味、向上心、社会と技術の関係への関心、コミュニケーション力をみるために面接を課しています。さらに、志望理由書・調査書及び活動報告書により、学習意欲、主体性・協働性等を評価します。

2 総合型選抜 I の概要

大学入学共通テストを課さずに、小論文、面接、グループディスカッション、課題レポート、プレゼンテーション、質疑応答、口頭試問、出願書類に基づき、入学志願者の能力・適性や学習に対する意欲、目的意識等を多面的・総合的に評価・判定し、合格者を決定します。

3 募集人員

学 部	学 科 ・ コース		募集人員 (人)	備 考
教育学部	学校教育実践コース	特別支援教育サブコース	10	地域教員希望枠
		小学校教育サブコース		
	初等中等教科コース	言語社会教育サブコース (国語教科、社会教科、外国語(英語)教科)		
		科学教育サブコース (算数・数学教科、理科教科、技術・情報教科)		
		生活健康・芸術教育サブコース (家庭教科、体育・保健体育教科、音楽教科、図画工作・美術教科)		
社会共創学部	産業イノベーション学科		12	
	環境デザイン学科		15	
	地域資源マネジメント学科		15	
医学部	看護学科		10	総合型 I A (地域特別枠)
			若干人	総合型 I B (社会人枠)
工学部	工学科	機械工学コース	2	普通科、工業に関する学科又はそれに準ずる課程対象
		知能システム学コース	1	〃
		化学・生命科学コース	10	
		海事産業特別コース	4	

4

出願要件

「高等学校」には、「中等教育学校」を含みます。(以下同じ。)

学部	学科・コース		出願要件
教育学部	教育発達実践コース	特別支援教育サブコース	<p>高等学校を卒業した者又は令和9年3月卒業見込みの者（令和8年4月以降に卒業を認められた者を含む。以下同じ。）で、次の全ての条件に該当するもの</p> <p>(1) 全体の評定平均が3.5以上の者</p> <p>(2) 合格した場合は入学を確約できる者</p> <p>(3) 人口減少が著しい地域において、地域創生に関わる教育活動又はボランティアへ参加した経歴があり、証明書等を提出できる者</p> <p>(4) 卒業後、愛媛県で教職に就き、特に人口減少が著しい地域において地域創生に貢献する強い意志を有する者</p>
		小学校教育サブコース	
	初等中等教科コース	言語社会教育サブコース	
		科学教育サブコース	
	生活健康・芸術教育サブコース		
社会共創学部	産業イノベーション学科	<p>次の(1)から(3)までのいずれかに該当し、①及び②の条件を満たす者</p> <p>(1) 高等学校を卒業した者又は令和9年3月卒業見込みの者</p> <p>(2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は令和9年3月修了見込みの者</p> <p>(3) 学校教育法施行規則第150条の規定（第6号を除く。）により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者又は令和9年3月31日までにこれに該当する見込みの者</p> <p>① 合格した場合は入学を確約できる者</p> <p>② 志望学科のアドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）を理解し、志望動機が明確な者</p>	
	環境デザイン学科		
	地域資源マネジメント学科		
医学部	看護学科	総合型 I A (地域特別枠)	<p>次の(1)から(4)の条件をすべて満たす者</p> <p>(1) 以下のいずれかに該当する者</p> <p>① 高等学校を令和9年3月卒業見込みの者</p> <p>② 通常の課程による12年の学校教育を令和9年3月修了見込みの者</p> <p>(2) 愛媛県内の中山間地域や離島などの保健・医療に貢献する強い意志を持ち、将来、それらの地域医療に貢献することを確約できる者</p> <p>(3) 合格した場合は入学を確約できる者</p> <p>(4) 入学後は所定のプログラムの受講を確約できる者</p>
		総合型 I B (社会人枠)	<p>次の(1)から(2)の条件をすべて満たす者</p> <p>(1) 令和9年4月1日現在、年齢が満21歳以上であり、3年以上社会人としての経験を有する者</p> <p>(2) 以下のいずれかに該当する者</p> <p>① 高等学校を卒業した者又は令和9年3月卒業見込みの者</p> <p>② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は令和9年3月修了見込みの者</p> <p>③ 学校教育法施行規則第150条の規定（第6号を除く。）により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者又は令和9年3月31日までにこれに該当する見込みの者</p> <p>(注) 定時制、夜間、通信制以外の学校（大学を含む。）の在学期間は、社会人としての経験年数に含まない。</p>

学部	学科・コース	出願要件
工 学 部	工 学 科	機械工学コース 高等学校の普通科、工業に関する学科又はそれに準ずる課程を令和9年3月卒業見込みの者で、次の全ての条件に該当するもの (1) 機械工学コースを志望する動機が明確であり、機械工学の知識・技術を活用して社会で活躍する意思のある者 (2) 合格した場合は入学を確約できる者
		知能システム学コース 高等学校の普通科、工業に関する学科又はそれに準ずる課程を令和9年3月卒業見込みの者で、次の全ての条件に該当するもの (1) 知能システム学コースを志望する動機が明確であり、知能システム学の知識・技術を活用して社会で活躍する意思のある者 (2) 合格した場合は入学を確約できる者
		化学・生命科学コース 次の(1)から(3)までのいずれかに該当し、①及び②の条件を満たす者 (1) 高等学校を卒業した者又は令和9年3月卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は令和9年3月修了見込みの者 (3) 学校教育法施行規則第150条の規定(第6号を除く。)により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者又は令和9年3月31日までにこれに該当する見込みの者 ① 化学・生命科学コースを志望する動機が明確であり、化学・生命科学の知識・技術を活用して社会で活躍する意思のある者 ② 合格した場合は入学を確約できる者
		海事産業特別コース 高等学校を令和9年3月卒業見込みの者で、次の全ての条件に該当するもの (1) 海事産業特別コースを志望する動機が明確であり、海事産業の知識・技術を活用して社会で活躍する意思のある者 (2) 合格した場合は入学を確約できる者

注 各学部・学科等のアドミッション・ポリシー(入学者受入の方針)は、1ページからの「1 アドミッション・ポリシー(入学者受入の方針)、選考方法の趣旨」をご覧ください。

※学校教育法施行規則第150条第7号により出願する場合は、事前に個別の入学資格審査が必要です。医学部を志望する方は、令和8年8月7日(金)までに、社会共創学部・工学部を志望する方は、令和8年9月4日(金)までに必要書類を添えて申請してください。(入学資格審査の詳細については、本学 Web サイト(<https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/guidelines-download/>)で公表しています。)なお、申請者は、申請の前に下記まで連絡してください。

〒790-8577 松山市文京町3番 愛媛大学教育学生支援部入試課 平日9時～17時：電話 089-927-9172

5 出願方法及び出願手続

(1) 出願方法（インターネット出願）

出願方法は、インターネット出願のみです。

インターネット出願サイト URL <https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/online-application/>

以下の方法により、出願手続をしてください。

- ①インターネット出願サイトへのユーザー登録 ②出願情報の入力 ③検定料の支払＊
④出願書類の郵送 ⑤受験票・連絡事項のダウンロード・印刷

＊検定料免除の特例措置について

自然災害により被災した進学希望者の経済的負担を軽減し、進学機会の確保を図るため、以下に該当する場合は、検定料免除の特例措置を行います。

自然災害により災害救助法適用地域において被災し、次のいずれかに該当する方

- (1) 学資負担者又は志願者が災害救助法の適用を受けた地域に所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊又は流失した場合
(2) 学資負担者が災害救助法の適用を受けた地域で、当該災害により死亡又は行方不明となった場合

※免除の対象となる入学試験：災害救助法適用日以降で、当該災害救助法適用日の属する年度内に実施される入学試験

詳細は本学 Web サイトをご覧ください。(<https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/natural-disasters-exemption/>)

(2) 出願受付期間

教育学部 学校教育教員養成課程
教育発達実践コース 特別支援教育サブコース、小学校教育サブコース
初等中等教科コース 言語社会教育サブコース、科学教育サブコース、生活健康・芸術教育サブコース

社会共創学部 産業イノベーション学科、環境デザイン学科、地域資源マネジメント学科

工学部 工学科 機械工学コース、知能システム学コース、化学・生命科学コース、海事産業特別コース

出願情報の登録期間	令和8年9月7日(月) 10時～9月25日(金) 16時
検定料の支払期間	令和8年9月18日(金) 0時～9月25日(金) 16時
出願書類の提出期間	令和8年9月18日(金)～9月25日(金) [9月25日(金)の消印有効]
【留意事項】 インターネット出願は、出願情報の登録及び検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了にはなりませんので、出願書類を提出期間内に到着するように郵送してください。 なお、出願書類は、出願書類の提出期間内に配達されたもの及び9月26日(土)以降に配達されたもののうち、9月25日(金)以前の日本国内発信局消印があるものを受理します。直接持参しても受理しません。	

医学部 看護学科

出願情報の登録期間	令和8年8月21日(金) 10時～9月11日(金) 16時
検定料の支払期間	令和8年9月1日(火) 0時～9月11日(金) 16時
出願書類の提出期間	令和8年9月1日(火)～9月11日(金) [9月11日(金)の消印有効]
【留意事項】 インターネット出願は、出願情報の登録及び検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了にはなりませんので、出願書類を提出期間内に到着するように郵送してください。 なお、出願書類は、出願書類の提出期間内に配達されたもの及び9月12日(土)以降に配達されたもののうち、9月11日(金)以前の日本国内発信局消印があるものを受理します。直接持参しても受理しません。	

(3) 出願書類の送付先

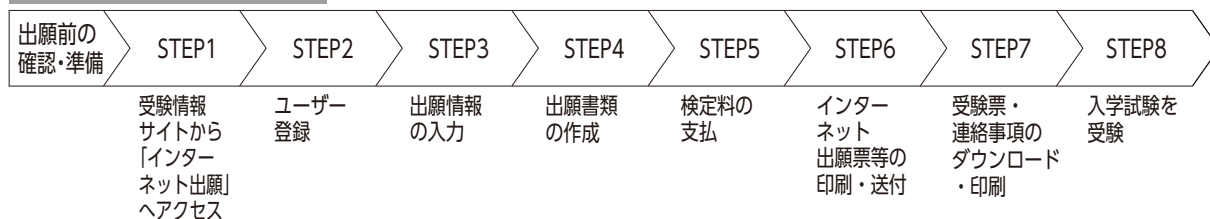
出願書類の送付方法については、12ページ「STEP6 インターネット出願票等の印刷・送付」を参照してください。

学部	送付先	所在地	電話
教育学部	教育学部入試係	〒790-8577 松山市文京町3番	089-927-9377
社会共創学部	社会共創学部入試係	〒790-8577 松山市文京町3番	089-927-9019
医学部	医学部入試係	〒791-0295 東温市志津川	089-960-5869
工学部	工学部入試係	〒790-8577 松山市文京町3番	089-927-9697

(4) 出願から受験までの流れ

① 出願手順

インターネット出願の流れ



出願情報の入力が完了しても、検定料の支払期間になるまでは先の操作（STEP5）に進むことができません。

出願前の確認・準備

1) インターネット環境の確認

パソコンやスマートフォン、タブレット端末からインターネットを通じて出願情報の登録を行います。一部の携帯電話では利用できない可能性があります。次の推奨環境を満たすパソコン等を用意してください。

また、自宅にインターネット環境がない場合も、学校や知人等、次の推奨環境を満たすパソコン等を利用できるように確認してください。

【推奨環境】

パソコン	Windows: Microsoft Edge (最新バージョン) Google Chrome (最新バージョン) Firefox (最新バージョン)
	MacOS: Safari (最新バージョン)
スマートフォン タブレット	Android : 14.0以上 (Android Chrome最新バージョン) iOS : 17.0以上 (Safari最新バージョン)
ブラウザの設定：JavaScriptを有効にする。Cookieを有効にする。 その他必要なソフトウェア条件：インターネット出願票等をPDFフォーマットで確認する場合は、Adobe Reader11.0以上を推奨します。	

【注意】

- ・セキュリティソフトをインストールしている場合、インターネット出願が正常に動作しない場合がありますのでご注意ください。セキュリティソフトについては、各メーカーのサポートセンターにお問い合わせください。
- ・スマートフォン、タブレット端末を利用する場合、機種によって対応できないものがあります。

2) 印刷できる環境の確認

インターネット出願票等のPDFファイルを印刷するために、印刷できる環境が必要です。自宅にプリンターがない場合は、学校、コンビニエンスストア等の印刷できる環境を確認してください。

3) メールアドレスの準備

出願登録の際、メールアドレスの入力が必要です。フリーメール（GmailやYahoo!メールなど）や携帯電話のメールアドレスでもかまいませんが、携帯メールの場合は、「@postanet.jp」からのメールを受け取れるように設定してください。

出願登録完了時・検定料支払い完了時等に、登録したメールアドレスに確認メールが自動送信されます。

4) 検定料支払方法の確認

クレジットカード、コンビニエンスストア、Pay-easy（Pay-easyが利用可能な金融機関ATM及びインターネットバンキング）を利用できます。

13ページの「②支払方法」を確認の上、支払方法を決定してください。

5) 写真・出願書類の準備

インターネット出願では顔写真のデータ（JPEG又はHEIC形式、30MBまで）のアップロードが必要です。上半身、無帽、正面向きで3ヶ月以内に撮影したものをあらかじめ準備しておいてください。カラー・白黒は問いません。また、出願サイトに写真データをアップロードした後で写真を回転し、上半身を縦4：横3のサイズに切り出すこともできます。

なお、インターネット出願では、紙にプリントされた写真は使用できません。

また、調査書等の出願書類も準備しておいてください。出願書類の詳細については、14ページの「③出願書類」で確認してください。

6) 封筒の準備

出願用【角形2号封筒（24cm×33.2cm）】の市販の封筒が必要です。医学部のみ、第1次選抜結果通知送付用【長形3号封筒（12cm×23.5cm）】の市販の封筒も必要です。詳細は、15ページの「③出願書類」の表中「返信用封筒」で確認してください。

STEP1 受験情報サイトから「インターネット出願」へアクセス

受験情報サイト>インターネット出願
https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/online-application/



インターネット出願(ログイン画面)



※画像は全て見本であり、変更となる場合があります。

STEP2 ユーザー登録

「新規登録」からユーザー ID (メールアドレス) を登録すると、パスワード設定用の URL を記載したメールが配信されます。パスワードを設定するとユーザー登録が完了します。あらかじめ「@postanet.jp」からのメールを受け取れるよう設定してください。

STEP3 出願情報の入力

「STEP2 ユーザー登録」で設定したユーザー ID・パスワードでログインし、画面に沿って出願先、科目選択、個人情報 (写真データを含む。) 等を入力してください。

学部・入試区分選択画面



志望学科課程等選択画面



志願者情報の入力画面



写真アップロード画面



次のステップに進む前に、確認画面で誤字や入力間違い等がないか、必ず確認してください。

STEP4 出願書類の作成

16ページ「(5) 出願書類入力上の注意」をよく読んで「活動報告書」及び「志望理由書」を入力してください。

次のステップに進む前に、確認画面で誤字や入力間違い等がないか、必ず確認してください。これ以降は修正できません。

STEP5 検定料の支払

（令和8年9月18日（金）0時～9月25日（金）16時）
医学部看護学科については、
令和8年9月1日（火）0時～9月11日（金）16時

支払方法を選択し、支払手続に進んでください。（詳細は13ページ「②支払方法」を参照）

【注意】

コンビニエンスストア及びPay-easyが利用可能な金融機関ATMでの支払は、支払方法確定後に取扱い店舗で支払手続を行う必要があります。支払手続の際に受付番号等を使用するため、表示される支払に必要な情報をメモしてください。

（例）コンビニエンスストアを選択した場合の画面

支払い内容	
ファミリマートでのお支払い	FamilyMart
お支払い金額	20,000円
第一番号(企業コード)	3000x
第二番号(注文番号)	300000000x
お支払い情報送信	xxxxx @xxx.xxx.jp <input type="button" value="送信"/>

支払い手続

- このページを印刷し、または「第一番号(企業コード)」と「第二番号(注文番号)」を正確にメモしてください。
- ファミリマート店舗の「FamiPort」のトップメニューから「お支払い」→「収納票発行」を選択し、「第一番号(企業コード)」と「第二番号(注文番号)」の順に入力してください。
- 角券された「FamiPort申込券」をレジで提示し、支払いください。

支払手続が完了しないと、「STEP6 インターネット出願票等の印刷・送付」には進めません。

STEP6 インターネット出願票等の印刷・送付

検定料支払後にインターネット出願サイトにログインし、「出願履歴」にある「詳細を確認」にアクセスし、インターネット出願票・活動報告書・志望理由書・宛名票をダウンロードしてください。

インターネット出願票・活動報告書・志望理由書・宛名票の確認

A4サイズで片面印刷してください。カラー・白黒は問いません。

印刷後、誤りがあることがわかった場合は、14ページ「③出願書類」のとおり対応してください。インターネット出願サイト上では修正できません。

出願書類の確認

必要な出願書類を確認してください。出願書類に不備があるものは受け付けません。出願書類については、14ページ「③出願書類」を確認してください。

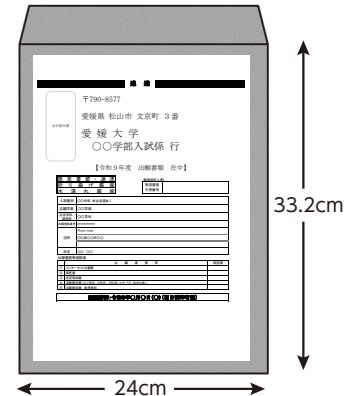
郵送の準備

市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm)に「宛名票」を貼り、「宛名票」の出願書類等確認欄にチェックを入れて、出願書類を封入してください。郵送中に「宛名票」が破損した時のために、封筒裏面に志願者の住所・氏名を記入してください。

郵送

「速達・簡易書留郵便」で送付してください。

▼角2封筒に宛名票(A4)を貼りつけてください。



【注意】

インターネット出願は、出願情報の登録及び検定料の支払手続を行っただけでは出願手続完了にはなりません。

インターネットで入力完了していても、出願書類が期間内に郵送されていない場合は、出願を受理しないので、注意してください。

STEP7 受験票・連絡事項のダウンロード・印刷

下記期間中にインターネット出願サイトにログイン後、「出願履歴」にある「詳細を確認」にアクセスし、「受験票ダウンロード」ボタンをクリックして受験票をダウンロードし、A4サイズで片面印刷してください。

ダウンロードした「受験票」には、2枚目以降に「連絡事項」が記載されていますので、必ず確認してください。

受験票ダウンロード期間	
教育学部・社会共創学部・工学部	令和8年10月9日（金）10時～10月18日（日）19時
医学部	令和8年9月25日（金）10時～10月3日（土）19時

※ダウンロード開始日時は変更する場合があります。

その場合は、受験情報サイト (<https://juken.ehime-u.ac.jp>) でお知らせします。

STEP8 入学試験を受験

試験当日は、印刷した受験票を必ず持参してください。

受験票は入学手続及び入学試験個人成績開示請求の際にも必要になりますので、試験終了後も大切に保管しておいてください。

② 支払方法

検定料：17,000円

※別途、手数料が680円かかります。


クレジットカード、コンビニエンスストア、Pay-easy(Pay-easyが利用可能な金融機関ATM及びインターネットバンキング)の3種類の支払方法があります(支払方法/取扱い金融機関は、下にあるものに限りません)。それぞれの手続等の注意事項を確認の上、支払方法を決定してください。一度選択した支払方法は変更できませんので、注意してください。

なお、支払済の検定料は22ページの「(7) 検定料の返還」の返還請求できる場合を除き、返還しません。


【支払期間】

令和8年9月18日(金)0時～9月25日(金)16時

(医学部看護学科については、令和8年9月1日(火)0時～9月11日(金)16時)

クレジットカード (日本国内・国外とも利用可)	
<ul style="list-style-type: none"> ◦ JCB ◦ Visa ◦ MasterCard ◦ Amex ◦ Diners 	<p>これら以外のカードは利用不可 カードの名義は志願者本人の名義でなくても可 支払方法は一括払のみ (カードの利用限度額を確認した上で利用してください。)</p> 

コンビニエンスストア (日本国内のみ利用可)	
12ページ「STEP5 検定料の支払」で支払方法を確定し、以下のコンビニエンスストアで支払手続をしてください。	
◦ セブンイレブン	 レジで「インターネット支払い」と伝えて手続後、現金支払
◦ ローソン ◦ ミニストップ	 「Loppi」で手続後、レジで現金支払
◦ ファミリーマート	 「マルチコピー機」で手続後、レジで現金支払
◦ デイリーヤマザキ ◦ ヤマザキデイリーストア	 レジで「オンライン決済」と伝えて手続後、現金支払
◦ セイコーマート	 レジで「インターネット支払い」と伝えて手続後、現金支払

Pay-easy (ペイジー) (日本国内のみ利用可)	
12ページ「STEP5 検定料の支払」で支払方法を確定し、以下の金融機関ATM又はインターネットバンキングで支払手続をしてください。	
<ul style="list-style-type: none"> ◦ 金融機関ATM 対象金融機関(ゆうちょ銀行等)のPay-easyロゴが付いているATM(銀行ATM端末に表示されるメニュー名称が銀行によって異なります。)で支払うことができます。 コンビニ窓口・コンビニATMは使えません。 ATMで「税金・料金払込み」又は「Pay-easy」を選択し、手続を行ってください。 ◦ インターネットバンキング インターネットバンキングは事前に対象金融機関への登録が必要です。インターネットバンキングにログイン後、「税金・料金払込み」又は「Pay-easy」を選択し、手続を行ってください。 志願者本人の名義でなくても可 	

上記の情報は、学生募集要項作成時のもので、今後変更されることがあります。
最新情報は、出願サイトで確認してください。

インターネット出願の操作方法・支払方法に関する問合せ
出願操作サポート窓口(コールセンター)

受付期間：出願受付期間中

受付時間：9時～17時(土日・祝日除く。)

電話番号：075-341-8620(運営会社：京都電子計算株式会社)

③出願書類

下記の書類等を一括して送付してください。

印刷した書類に誤りがあることがわかった場合は、該当箇所を二重線で取り消して、修正内容を赤字で記載し提出してください。

ただし、インターネット出願票について、志願者情報の欄以外の箇所に誤りがある場合は、送付前に、入試課に連絡してください。(連絡先については、43 ページ「18 入学試験に関する照会先」参照)

使用する封筒等については、12 ページ「STEP 6 インターネット出願票等の印刷・送付」を参照してください。出願後、住所(志願者連絡先)が変わった場合は、速やかに志願学部入試係に連絡してください。

書類等	摘要
インターネット出願票	出願サイトからダウンロードし、 <u>A4サイズ</u> で片面印刷したもの 出願サイトからは、検定料支払手続完了後、ダウンロードできるようになります。
調査書	文部科学省所定の様式(過年度卒業生については、従前の様式(以下「旧調査書」という。)も可)により出身学校長が作成し、厳封したもの(注1) 高等学校等を卒業した者で、高等学校等の保存期間の経過により調査書の提出ができない場合は、「卒業証明書」、「成績証明書」(又は「単位取得証明書」)及び「活動調書」(下記参照)を調査書の代わりに提出してください。 なお、成績証明書(又は単位取得証明書)を提出できない場合は、高等学校等が作成した「成績証明書(又は単位取得証明書)が発行できない旨の理由書」を「卒業証明書」と併せて提出してください。 学校教育法施行規則第150条の規定(第6号を除く。)により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者又は令和9年3月31日までにこれに該当する見込みの者)で出願する者は、必要書類について、出願する学部の入試係(43 ページ「18 入学試験に関する照会先」参照)にお問い合わせください。
活動調書	調査書が提出できない場合、大学 Web サイト (https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/guidelines-download/) からダウンロードし、 <u>A4サイズ</u> で片面印刷後、志願者本人が必要事項を記入したもの 様式をダウンロードしてパソコン等で作成しても構いません。
確約書 [医学部看護学科総合1A (地域特別枠) 志願者のみ]	出願サイトからダウンロードし、 <u>A4サイズ</u> で片面印刷後、必要事項を記入したもの 出願サイトからは、検定料支払手続完了後、ダウンロードできるようになります。
志望理由書	出願サイトに入力後、ダウンロードし、 <u>A4サイズ</u> で片面印刷したもの 出願サイトからは、検定料支払手続完了後、ダウンロードできるようになります。 詳細は、16 ページ「(5) 出願書類入力上の注意」を参照してください。
活動報告書	出願サイトに入力後、ダウンロードし、 <u>A4サイズ</u> で片面印刷したもの 出願サイトからは、検定料支払手続完了後、ダウンロードできるようになります。 [教育学部] 活動報告書A、Bのうち、1種類以上、Cは任意 入力していないものも含めて、A(1件目、2件目、3件目)・B・Cすべて(合計5枚)印刷の上、郵送してください。 人口減少が著しい地域において、地域創生に関わる教育活動又はボランティアへ参加した経歴等を「活動報告書」A又はBに入力することが必須です。 [社会共創学部] 活動報告書A、B、Cの3種類のうち1種類以上 A、B、Cの3種類のうち1種類以上を必ず入力し、入力していないものも含めて、A(1件目、2件目、3件目)・B・Cすべて(合計5枚)印刷の上、郵送してください。 [医学部] 活動報告書Aのみ [工学部] 活動報告書A(必須)、活動報告書C(任意) 詳細は、16 ページ「(5) 出願書類入力上の注意」を参照してください。

書類等	摘要
活動報告書の参考資料等	<p>[教育学部] ※「活動報告書」A又はBに入力した人口減少が著しい地域において、地域創生に関わる教育活動又はボランティアへ参加した経歴等の証明書等のコピー（必須） 「活動報告書」Aの入力内容を補足、アピールする資料（任意） 「活動報告書」Bの入力内容を補足、アピールする資料（任意） 「活動報告書」Cに入力した資格、検定等の合格証書、認定書、スコアシート等のコピー（必須）</p> <p>[社会共創学部] 「活動報告書」Aの入力内容を補足、アピールする資料（任意） 「活動報告書」Cに入力した資格、検定等の合格証書、認定書、スコアシート等のコピー（必須）</p> <p>[医学部] 「活動報告書」Aの入力内容を補足、アピールする資料（任意） Aに入力した資格、検定等の合格証書、認定書、スコアシート等のコピー（必須）</p> <p>[工学部] 「活動報告書」Aの入力内容を補足、アピールする資料（任意） 「活動報告書」Cに入力した資格、検定等の合格証書、認定書、スコアシート等のコピー（必須）</p> <p>詳細は16ページ「(5) 出願書類入力上の注意」を参照してください。</p>
返信用封筒 (第1次選抜結果通知送付用) 【医学部志願者のみ】	<p>市販の長形3号封筒（12cm×23.5cm）に、出願サイトからダウンロードし、A4サイズで片面印刷後切り抜いた返信用封筒宛名ラベルを貼ったもの 返信用封筒宛名ラベルは、出願サイトからは検定料支払手続完了後、ダウンロードできるようになります。 760円分の切手を必ず貼ってください。</p>

- 注1 教育学部・社会共創学部志願者は、「8. 備考」の欄には、出身（在籍）学校又はその学科の特性を生かした学習の成果や、高大連携活動等による成果があれば記入してください。
- 注2 インターネット出願票等提出後は、いかなる理由があっても記載内容の変更は認められませんので、インターネット出願情報入力の際は、該当事項をよく読んで誤りのないよう正確に入力してください。また、出願書類は返還しません。
- 注3 出願書類等が外国語で作成されている場合は、日本語訳も添付してください。

(5) 出願書類入力上の注意

教育学部

志望理由書

以下の①～②について入力してください。無理に上限の文字数に近づける必要はありません。各項目には、項目数字・タイトルを入力し、() で文字数を入力してください。

例：① 地域創生に関わる活動をした地域の課題・特性・魅力 (985 字)

面接に際しては、本学部のアドミッション・ポリシーに照らしつつ、この志望理由書を活用します。そのことに留意しながら入力してください。

① 地域創生に関わる活動をした地域の課題・特性・魅力 (800 ～ 1,000 字程度)

活動を行った地域について、客観的な指標を用いて地域の状況を説明する等、地域の課題・特性・魅力がわかるように、具体的に入力してください。

② 志望動機 (800 ～ 1,000 字程度)

地域創生に関わる経験や想いを踏まえて、どうして本学部を希望するのかを、具体的に入力してください。また、教員としての自己実現目標 (自分のなりたい教師像) を踏まえて、教師としてどのように地域課題に向き合い、地域の魅力を高めていきたいか、自分の長所や経験を踏まえて、具体的に入力してください。

活動報告書

A、B、Cの3種類のうち、A又はBのいずれかを必ず1種類以上入力してください。Cは任意ですが、入力していないものも含めて、A (1 件目、2 件目、3 件目)・B・Cすべて (合計5 枚) を印刷の上、郵送してください。

- A 「意欲的に取り組んだ活動」
- B 「課題研究等」
- C 「資格・検定等」

※人口減少が著しい地域において、地域創生に関わる教育活動又はボランティアへ参加した経歴等 (中学校卒業以前に行った活動も入力可) の入力が必要です。A 又は B について、1 件以上必ず入力してください。また、証明する資料として、参加した経歴を確認できる履修証明書等のコピーを必ず提出 (他の出願書類と一緒に郵送) してください。資料は返還しませんので、原本ではなくコピーを提出してください。コピーはA 4 サイズに整え、ホッチキス留めしてください。ただし、大学から求められた場合は原本を提示してください。例えば、受験の際に原本を持参するよう、事前に連絡することがあります。

次のA～Cの注意事項をよく読んでから、志願者本人が入力してください。

A 「意欲的に取り組んだ活動」

(1) 中学校卒業以降に行った「意欲的に取り組んだ活動」について入力してください。学校での活動であれば、スポーツや文化的な活動、インターンシップ、生徒会活動、強い興味のある教科に関する学習などが該当します。学校外の活動であれば、留学、ボランティア活動、就労経験、家事・家業、スポーツ活動、芸術文化活動 (吹奏楽・合唱・ピアノ独奏・造形活動・展覧会発表など)、趣味・特技に関する活動などが該当します。ただし、人口減少が著しい地域において、地域創生に関わる教育活動又はボランティアへ参加した経歴等を入力する場合に限り、中学校卒業以前に行った活動でも構いません。また、課題研究等に関する活動はA 「意欲的に取り組んだ活動」ではなく、B 「課題研究等」に入力してください。

(2) 入力項目は以下のとおりです。

- ① 活動の名称
- ② 活動期間 (「2 年以上」 「1 年以上 2 年未満」 「6 カ月以上 1 年未満」 「3 カ月以上 6 カ月未満」 「3

カ月未満」から選択します。)

- ③ 活動の説明（例えば、努力や成果、集団活動の場合は役割や貢献について 300 字以内で入力します。）

これは上限であり、無理に 300 字に近づける必要はありません。

- ④ 添付する参考資料の有無とその内容（参考資料については下の(4)を参照してください。）

- (3) 「意欲的に取り組んだ活動」が複数ある場合は、3 件まで入力できます。3 件は上限であり、この件数だけで評価することはありません。

- (4) 次の要領で参考資料を提出することができます。

- ① 参考資料は、(2)の内容を補足したり、アピールしたりするためのものです。

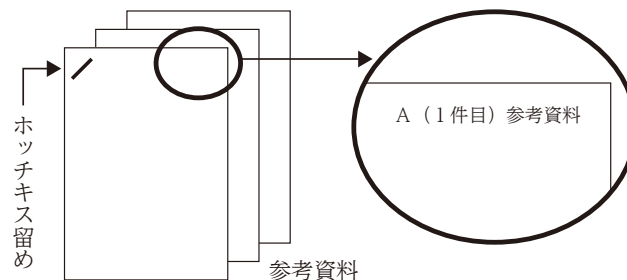
- ② 参考資料の提出は任意ですが、添付する場合は「添付する参考資料の一覧」の欄に何を添付するかを入力してください。（例：令和〇年〇月〇日△△新聞の記事）この入力欄は「(参考資料を) 添付する」を選択した場合に表示されます。人口減少が著しい地域において、地域創生に関わる教育活動又はボランティアへ参加した経歴等を証明する資料は、「添付する参考資料の一覧」の欄に入力してください。

- ③ 参考資料は A 4 サイズの紙（コピーでも原本でも可）で提出（他の出願書類と一緒に郵送）してください。サイズが異なるものは拡大したり縮小したりして A 4 サイズに整えてください。写真などの小型のものは、用紙に貼り付けるのではなく、A 4 サイズの用紙にコピーしてください。資料は、1 件目から 3 件目までそれぞれ A 4 の表面 10 枚以内とし、裏面は使用しないでください。なお、参考資料は返還しません。人口減少が著しい地域において、地域創生に関わる教育活動又はボランティアへ参加した経歴等を証明する資料は、枚数に含みません。

- ④ 参考資料は 1 件目、2 件目、3 件目ごとにホッチキス留めし、1 枚目の右肩に「A (〇件目) 参考資料」と明記してください。なお、活動報告書 A はホッチキス留めせずに提出してください。

- ⑤ 紙以外の参考資料を必要とする場合は、大学から指示をすることがあります。

【例】



B 「課題研究等」

- (1) 課題研究等について入力してください。課題研究等とは、高等学校等において個人又はグループで、関心のある事柄について計画的に学習を深めたり、疑問を解明したりしようとするものです。

- (2) 複数の課題研究等を行った場合は、あなたが最も重要だと思う 1 件について、入力してください。

- (3) 「概要や成果の説明」及び「補足」として、それぞれ 300 字まで入力できます。これらは上限であり、無理に 300 字に近づける必要はありません。

- (4) 課題研究等に関して大学から問い合わせを行うことがありますので、「この課題研究等に関する問い合わせ先（指導教員名）」の欄に指導教員名等を入力してください。指導教員等が在籍（出身）校の教員でない場合は、その教員の現在の所属も入力してください。指導教員等がない場合は、入力する必要はありません。

- (5) 次の要領で参考資料を提出することができます。

- ① 参考資料は(3)の内容を補足したり、その内容をアピールしたりするためのものです。

- ② 参考資料の提出は任意です。提出する場合は、「3. 課題研究等の概要や成果」欄に何を提出するか明記してください。人口減少が著しい地域において、地域創生に関わる教育活動又はボランティアへ参加した経歴等を証明する資料は、「3. 課題研究等の概要や成果」の欄に入力してください。

- ③ 参考資料は A 4 サイズの紙（コピーでも原本でも可）で提出（他の出願書類と一緒に郵送）してください。サイズが異なるものは拡大したり縮小したりして A 4 サイズに整えてください。写真などの小型のものは、用紙に貼り付けるのではなく、A 4 サイズの用紙にコピーしてくだ

さい。資料はA 4の表面10枚以内とし、裏面は使用しないでください。人口減少が著しい地域において、地域創生に関わる教育活動又はボランティアへ参加した経歴等を証明する資料は、枚数に含みません。

④ 紙以外の参考資料を必要とする場合は、大学から指示をすることがあります。

C「資格・検定等」

- (1) 取得した資格、合格した検定、英語等の試験成績（スコア）等について入力してください。取得等の時期は問いません。
- (2) 入力できる件数は、英語に関する資格・検定等は3件まで、英語以外に関する資格・検定等は10件まで、合計13件までです。英語に関する資格・検定等を4件以上入力する場合は、英語以外に関する資格・検定等の入力欄に入力してください。その場合でも、入力できる件数は合計13件までです。
- (3) 合格証書や認定書、スコアシート等（以下証拠書類）が手元にない場合は入力してはいけません。
- (4) 「資格・検定・試験等の名称」は、証拠書類に記載された正式名称を入力してください。ただし、一部の英語に関する検定等は、選択式となっています。
- (5) 「取得等の年月」の欄は、証拠書類に即して入力してください。
- (6) 証拠書類のコピーを必ず提出（他の出願書類と一緒に郵送）してください。出願サイトから提出することはできません。証拠書類は返還しませんので、原本ではなくコピーを提出してください。コピーはA 4サイズに整えてください。ただし、大学から求められた場合は原本を提示してください。例えば、受験の際に原本を持参するよう、事前に連絡することがあります。

社会共創学部

志望理由書

本学科への入学を志望する理由、大学生活の目的、卒業後の抱負等を志願者本人が1,000字以内にまとめて入力してください。

活動報告書

A、B、Cの3種類のうち1種類以上を必ず入力し、入力していないものも含めて、A（1件目、2件目、3件目）・B・Cすべて（合計5枚）印刷の上、郵送してください。

- A「意欲的に取り組んだ活動」
- B「課題研究等」
- C「資格・検定等」

次のA～Cの注意事項をよく読んでから、志願者本人が入力してください。

A「意欲的に取り組んだ活動」

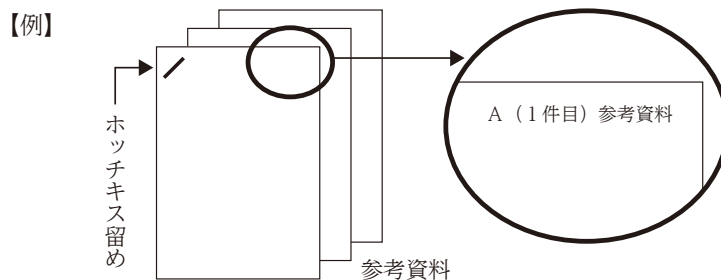
中学校卒業以降に行った「意欲的に取り組んだ活動」について入力してください。学校での活動であれば、スポーツや文化的な活動、インターンシップ、生徒会活動、強い興味のある教科に関する学習などが該当します。学校外の活動であれば、留学、ボランティア活動、就労経験、家事・家業、スポーツ活動、芸術文化活動、伝統芸能、趣味・特技に関する活動などが該当します。ただし、課題研究等に関する活動はA「意欲的に取り組んだ活動」ではなく、B「課題研究等」に入力してください。

※資格の取得や検定の合格、大会への参加等に向け意欲的に取り組んだ過程は、成果を問わず、A「意欲的に取り組んだ活動」に入力することができます。

【注意事項】

1. 活動の説明として、300字まで入力できます。これは上限であり、無理に300字に近づける必要はありません。

2. 「意欲的に取り組んだ活動」は全部で3件まで入力できます。3件は上限であり、入力した件数だけで評価することはありません。
3. 次の要領で参考資料を提出することができます。
 - (1)参考資料は入力した内容を補足したり、その内容をアピールしたりするためのものです。
 - (2)参考資料の提出は任意ですが、提出する場合は参考資料の入力欄に何を提出するかを入力してください。
 - (3)参考資料は他の出願書類と一緒に大学に郵送してください。インターネット出願サイトから提出することはできません。
 - (4)参考資料は原則として、紙とします。原本でもコピーでも構いませんが、返還しません。
 - (5)コピーの場合はA4又はA3サイズの内紙とします。サイズが異なるものは拡大したり縮小したりしてコピーを取ってください。写真などの小型のものは、A4サイズの内紙に貼り付けるか、A4サイズの内紙にコピーしてください。
 - (6)紙以外の参考資料を必要とする場合は、大学から指示をすることがあります。
 - (7)参考資料は1件目、2件目、3件目ごとに左上をホッチキス留めし、1枚目の右肩に「A (○件目) 参考資料」と明記してください。なお、活動報告書Aはホッチキス留めせずに提出してください。



B 「課題研究等」

課題研究等について入力してください。課題研究等とは、高等学校等において個人又はグループで、関心のある事柄について計画的に学習を深めたり、疑問を解明したりしようとするものです。

【注意事項】

1. 複数の課題研究等を行った場合は、あなたが最も重要だと思う1件について、入力してください。
2. 「概要や成果の説明」及び「補足」として、それぞれ300字まで入力できます。これらは上限であり、無理に300字に近づける必要はありません。
3. 課題研究等に関して大学から問合せを行うことがありますので、「この課題研究等に関する問合せ先(指導教員名)」の欄に指導教員名等を入力してください。指導教員等が在籍(出身)校の教員でない場合は、その教員の所属も入力してください。指導教員等がない場合は、入力する必要はありません。
4. 参考資料の提出が必要と判断した場合は、大学から提出を求めることがあります。その場合を除き、参考資料の提出は認められません。

C 「資格・検定等」

取得した資格、合格した検定、英語等の試験成績(スコア)等について入力してください。取得等の時期は問いません。

※資格の取得や検定の合格、大会への参加等に向け意欲的に取り組んだ過程は、成果を問わず、A「意欲的に取り組んだ活動」に入力することができます。

【注意事項】

1. 入力できる件数は、英語に関する資格・検定等は3件まで、英語以外に関する資格・検定等は10件まで、合計13件までです。英語に関する資格・検定等を4件以上入力する場合は、英語以外に関する資格・検定等の入力欄に入力してください。その場合でも、入力できる件数は合計13件までです。
2. 合格証書や認定書、スコアシート等(以下、証拠書類)が手元にない場合は入力してはいけません。
3. 「資格・検定・試験等の名称」は、証拠書類に記載された正式名称を入力してください。

4. 「取得等の年月」は、証拠書類に即して入力してください。
5. 次の要領で証拠書類のコピーを必ず提出してください。
 - (1) 証拠書類のコピーを他の出願書類と一緒に大学に郵送してください。証拠書類のコピーは、活動報告書Cに入力した件数分を全て必ず提出してください。なお、インターネット出願サイトから提出することはできません。証拠書類は返還しませんので、原本ではなくコピーを提出してください。ただし、大学から求められた場合には原本を提示してください。例えば、面接試験を受ける際に原本を持参するよう連絡することがあります。
 - (2) 証拠書類のコピーは、A 4又はA 3サイズの用紙とします。サイズが異なるものは拡大したり縮小したりしてコピーを取ってください。
 - (3) 証拠書類のコピーは、活動報告書Cに入力した「資格・検定・試験等の名称」の順番に並べ、全てをひとまとめにして左上をホッチキス留めしてください。なお、活動報告書Cはホッチキス留めせずに提出してください。

医学部

志望理由書

本学科の入学を志望する理由、大学生活の目的や計画、卒業後の抱負等を志願者本人が1,000字以内にまとめて入力してください。

活動報告書

活動報告書は、A「意欲的に取り組んだ活動」のみ提出してください。

次の注意事項をよく読んでから、志願者本人が入力してください。

A「意欲的に取り組んだ活動」

(1) 中学校卒業以降に行った「意欲的に取り組んだ活動」について入力してください。学校での活動であれば、課題研究等*、スポーツや文化的な活動、インターンシップ、生徒会活動、強い興味のある教科に関する学習などが該当します。学校外の活動であれば、留学、ボランティア活動、就労経験、家事・家業、スポーツ活動、芸術文化活動、趣味・特技に関する活動、資格・検定の取得などが該当します。

* 課題研究等とは、高等学校等において個人又はグループで、関心のある事柄について計画的に学習を深めたり、疑問を解明したりしようとするもの。

(2) 入力項目は以下のとおりです。

- ① 活動の名称
- ② 活動期間（「2年以上」「1年以上2年未満」「6ヵ月以上1年未満」「3ヵ月以上6ヵ月未満」「3ヵ月未満」から選択します。）
- ③ 活動の説明（例えば、努力や成果、集団活動の場合は役割や貢献について300字以内で入力します。）
- ④ 添付する参考資料の有無とその内容（参考資料については下の(4)を参照してください。）

(3) 「意欲的に取り組んだ活動」として入力できるのは1件のみです。

(4) 次の要領で参考資料を添付することができます。

- ① 参考資料は、(2)の内容を補足したり、アピールしたりするためのものです。
- ② 資格・検定の取得に関する事柄を入力する場合は、合格証書や認定書、スコアシート等のコピーを必ず添付してください。その他の活動に関する参考資料の添付は任意です。
- ③ 参考資料を添付する場合は、「添付する参考資料一覧」の欄に何を添付するかを入力してください。（例：令和〇年〇月〇日△△新聞の記事）この入力欄は、「(参考資料を)添付する」を選択した場合に表示されます。
- ④ 参考資料はA 4サイズの紙（コピーでも原本でも可）で提出（他の出願書類と一緒に郵送）してください。サイズが異なるものは拡大したり縮小したりしてA 4サイズに整えてください。写真などの小型のものは、用紙へ貼り付けるのではなく、A 4サイズの用紙にコピーしてください。資料はA 4の表面1枚とし、裏面は使用しないでください。なお、参考資料は返還しま

せん。

- ⑤ 参考資料の右肩に氏名を記入し、「A参考資料」と明記してください。

工学部

志望理由書

自身が志望するコースへの入学を志望する理由、大学で取り組みたいこと、卒業後の抱負等を志願者本人が 500 字以内にまとめて入力してください。

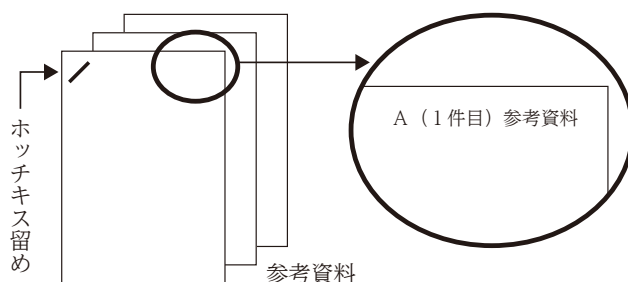
活動報告書

活動報告書は、A「意欲的に取り組んだ活動」とC「資格・検定等」の2種類あります。このうち、A「意欲的に取り組んだ活動」に関する入力項目は必須です。C「資格・検定等」に関しては、入力は任意（該当する事柄がある場合にのみ入力）です。

A「意欲的に取り組んだ活動」

- (1) 中学校卒業以降に行った「意欲的に取り組んだ活動」について入力します。学校での活動であれば、課題研究等*、スポーツや文化的な活動、インターンシップ、生徒会活動、強い興味のある教科に関する学習などが該当します。学校外の活動であれば、留学、ボランティア活動、就労経験、家事・家業、スポーツ活動、芸術文化活動、趣味・特技に関する活動などが該当します。
*課題研究とは、高等学校等において個人又はグループで、関心のある事柄について計画的に学習を深めたり、疑問を解消したりしようとするもの。
- (2) 入力項目は以下のとおりです。
 - ① 活動の名称
 - ② 活動期間（「2年以上」「1年以上2年未満」「6ヵ月以上1年未満」「3ヵ月以上6ヵ月未満」「3ヵ月未満」から選択します。）
 - ③ 活動の説明（例えば、努力や成果、集団活動の場合は役割や貢献について300字以内で入力します。）
 - ④ 添付する参考資料の有無とその内容（参考資料については下の(4)を参照してください。）
- (3) 「意欲的に取り組んだ活動」が複数ある場合は、3件まで入力できます。3件は上限であり、この件数だけで評価することはありません。
- (4) 次の要領で参考資料を添付することができます。
 - ① 参考資料は、(2)の内容を補足したり、アピールしたりするためのものです。
 - ② 参考資料の添付は任意ですが、添付する場合は、「添付する参考資料一覧」の欄に何を添付するかを入力してください。（例：令和〇年〇月〇日△△新聞の記事）この入力欄は、「(参考資料を)添付する」を選択した場合に表示されます。
 - ③ 参考資料はA4サイズの紙（コピーでも原本でも可）で提出（他の出願書類と一緒に郵送）してください。サイズが異なるものは拡大したり縮小したりしてA4サイズに整えてください。写真などの小型のものは、A4サイズの紙に貼り付けるか、A4サイズ用の紙にコピーしてください。なお、参考資料は返還しません。
 - ④ 参考資料は1件目、2件目、3件目ごとにホッチキス留めしてください。1枚目の右肩に「A（〇件目）参考資料」と明記してください。（「意欲的に取り組んだ活動」が1件の場合は明記不要です。）

【例】



C「資格・検定等」

- (1) 入力は任意（該当する事柄がある場合にのみ入力）です。
- (2) 取得した資格、合格した検定、英語等の試験成績（スコア）等と取得等の時期を入力します。
- (3) 取得等の時期は問いません。
- (4) 入力できる件数は、英語に関する資格・検定等は3件まで、英語以外に関する資格・検定等は10件まで、合計13件までです。英語に関する資格・検定等を4件以上入力する場合は、英語以外に関する資格・検定等の入力欄に入力してください。その場合でも、入力できる件数は合計13件までです。
- (5) 合格証書や認定書、スコアシート等が手元にない場合は入力してはいけません。
- (6) 「資格・検定・試験等の名称」の欄は、合格証書や認定書、スコアシート等にかかれている正式なものを入力してください。ただし、一部の英語に関する検定等は、選択式となっています。
- (7) 「取得等の年月」の欄は、合格証書や認定書、スコアシート等に即して入力してください。
- (8) 合格証書、認定書、スコアシート等のコピーを必ず提出（他の出願書類と一緒に郵送）してください。
コピーはA4サイズに整えてください。ただし、大学から求められた場合には原本を提示してください。
例えば、面接試験を受ける際に原本を持参するよう連絡することがあります。

(6) 受験票等のダウンロード・印刷

受験票ダウンロード期間内にインターネット出願サイトにログイン後、受験票をダウンロードし、A4サイズで片面印刷してください（12ページ参照）。試験当日は印刷した受験票を持参してください。

また、ダウンロードした「受験票」には、2枚目以降に連絡事項が記載されていますので、必ず確認してください。

なお、受験票は入学手続及び入学試験個人成績開示請求の際にも必要になりますので、試験終了後も大切に保管しておいてください。

(7) 検定料の返還

次に該当した場合は納入済みの検定料を返還します。

- ① 検定料を納入したが、出願しなかった場合
- ② 検定料を誤って二重に納入した場合又は誤って所定の金額より多く納入した場合
- ③ 出願書類等を提出したが、出願が受理されなかった場合

〈返還請求の方法〉

上記①又は②に該当した場合は「検定料返還請求書」を送付しますので、必要事項を記入の上、郵送してください。

上記③の場合は、出願書類等返却の際に「検定料返還請求書」を同封しますので、必要事項を記入の上、郵送してください。

(検定料返還に関する問合せ先) 愛媛大学財務部財務企画課出納チーム
Eメール suitou@stu.ehime-u.ac.jp

(8) 注意事項

- ① 出願書類（インターネット出願の入力情報も含む。以下同じ。）受理後は、いかなる理由があっても、出願書類の記載内容の変更は認めません。ただし、住所等の個人情報の誤りや変更がある場合は、出願した学部の入試係（43ページ「18 入学試験に関する照会先」参照）に連絡してください。また、出願書類は返還しません。
- ② 出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学許可後であっても入学の許可を取り消すことがあります。
- ③ 「愛媛大学受験票」は、個別学力検査等受験及び入学手続並びに入学試験個人成績の開示請求の際に必要なため、紛失したり、汚損したりすることのないよう大切に保管しておいてください。

6 選抜方法等

教育学部

学校教育教員養成課程	教育発達実践コース	特別支援教育サブコース
//	//	小学校教育サブコース
//	初等中等教科コース	言語社会教育サブコース
//	//	科学教育サブコース
//	//	生活健康・芸術教育サブコース

1 出願要件

高等学校を卒業した者又は令和9年3月卒業見込みの者で、次の全ての条件に該当するもの

- (1) 全体の評定平均が 3.5 以上の者
- (2) 合格した場合は入学を確約できる者
- (3) 人口減少が著しい地域において、地域創生に関わる教育活動又はボランティアへ参加した経歴があり、証明書等を提出できる者
- (4) 卒業後、愛媛県で教職に就き、特に人口減少が著しい地域において地域創生に貢献する強い意志を有する者

2 出願期間等

(1) 出願期間

出願情報の登録期間	令和8年9月7日(月) 10時～9月25日(金) 16時
検定料の支払期間	令和8年9月18日(金) 0時～9月25日(金) 16時
出願書類の提出期間	令和8年9月18日(金)～9月25日(金)〔9月25日(金)の消印有効〕
<p>【留意事項】 インターネット出願は、出願情報の登録及び検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了にはなりませんので、出願書類を提出期間内に到着するように郵送してください。 なお、出願書類は、出願書類の提出期間内に配達されたもの、及び9月26日(土)以降に配達されたもののうち、9月25日(金)以前の日本国内発信局消印があるものを受理します。直接持参しても受理しません。</p>	

(2) 出願手続

詳細については、9ページの「5 出願方法及び出願手続」により手続きを行ってください。

(3) 試験期日

令和8年10月17日(土)～10月18日(日)

詳細については、34ページの「7 試験期日及び試験時間」を参照してください。

(4) 試験場

教育学部で実施します。

詳細については、令和8年10月16日(金)10時に教育学部試験場前(試験場の位置については、39ページの「14 試験場・試験場案内・交通機関案内」参照)に掲示しますので、確認してください。

(5) 選抜方法等

面接の結果及び提出された出願書類(志望理由書、調査書、活動報告書)により選考します。

(6) 個別学力検査等の配点

課程	教科等	面接	出願書類 〔志望理由書〕 〔調査書〕 〔活動報告書〕	計
学校教育教員養成課程		150	150	300

(7) 個別学力検査等の採点・評価基準

教科等	採点・評価基準（一般的基準）
面接	卒業後、愛媛県で教職に就き、特に人口減少が著しい地域において地域創生に貢献する強い目的意識、勉学意欲、基礎的知識等について他者に自分の言葉で伝えられる自己表現力やコミュニケーション能力、主体性等を評価する。
出願書類 〔志望理由書〕 〔調査書〕 〔活動報告書〕	志望理由書は、学習意欲、入学後あるいは卒業後の目標などを総合的に評価する。 調査書は、高等学校における特記すべき活動などを総合的に評価する。 活動報告書は、志願者が経験した多様な取り組み、課題研究及び取得資格などを通して、主体的に取り組む態度などを総合的に評価する。

1 出願要件

次の(1)から(3)までのいずれかに該当し、①及び②の条件を満たす者

- (1) 高等学校を卒業した者又は令和9年3月卒業見込みの者
 - (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は令和9年3月修了見込みの者
 - (3) 学校教育法施行規則第150条の規定（第6号を除く。）により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者又は令和9年3月31日までにこれに該当する見込みの者
- ① 合格した場合は入学を確約できる者
 - ② 志望学科のアドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）を理解し、志望動機が明確な者

※ 学校教育法施行規則第150条第7号により出願する場合は、事前に個別の入学資格審査が必要です。令和8年9月4日（金）までに必要書類を添えて申請してください。（入学資格審査の詳細については、本学 Web サイト（<https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/guidelines-download/>）で公表しています。）
なお、申請者は、申請の前に下記まで連絡してください。

〒790-8577 松山市文京町3番
愛媛大学教育学生支援部入試課
平日9時～17時：電話089-927-9172

2 出願期間等

(1) 出願期間

出願情報の登録期間	令和8年9月7日（月）10時～9月25日（金）16時
検定料の支払期間	令和8年9月18日（金）0時～9月25日（金）16時
出願書類の提出期間	令和8年9月18日（金）～9月25日（金）〔9月25日（金）の消印有効〕

【留意事項】

インターネット出願は、出願情報の登録及び検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了にはなりませんので、出願書類を提出期間内に到着するように郵送してください。

なお、出願書類は、出願書類の提出期間内に配達されたもの及び9月26日（土）以降に配達されたもののうち、9月25日（金）以前の日本国内発信局消印があるものを受理します。直接持参しても受理しません。

(2) 出願手続

詳細については、9ページの「5 出願方法及び出願手続」により手続を行ってください。

(3) 試験期日

令和8年10月17日（土）～10月18日（日）

詳細については、34ページの「7 試験期日及び試験時間」を参照してください。

(4) 試験場

社会共創学部で実施します。

詳細については、令和8年10月16日（金）10時に社会共創学部試験場前（試験場の位置については、39ページの「14 試験場・試験場案内・交通機関案内」参照）に掲示しますので、確認してください。

(5) 選抜方法等

小論文、面接、グループディスカッションの結果及び提出された出願書類（活動報告書、志望理由書、調査書）の内容から、志願者の意欲・能力・適性・関心等を多面的、総合的に評価します。

(6) 個別学力検査等の配点

学科	教科等				計
		小論文	面接	グループ ディスカッ ション	
産業イノベーション学科		100	150	150	450
環境デザイン学科		150	150	150	550
地域資源マネジメント学科		150	150	150	550

(7) 個別学力検査等の採点・評価基準

産業イノベーション学科

教科等	採点・評価基準（一般的基準）
小論文	地域的な視点からグローバルな視点における多様な社会の事象や諸問題について、提示された日本語の課題文や資料に対して記述・論述することで、本学部において学ぶために共通して必要な能力である「知識・理解」「思考・判断」「興味・関心・意欲・協働」「技能・表現」を総合的に評価する。
面接	活動報告書、志望理由書、調査書を参考に、これまでの活動、志望理由、学習意欲、目的意識などの質問に対する応答及び面接時の態度から、本学部において学ぶために必要な「知識・理解」「思考・判断」「興味・関心・意欲・協働」「技能・表現」について総合的に評価する。特に、水産業、紙産業又はものづくり産業への関心や意欲について評価する。
グループ ディスカッション	社会、産業、又は身の周りの課題を提示し、その課題についての議論や議論中の態度から、本学部において学ぶために必要な「知識・理解」「思考・判断」「興味・関心・意欲・協働」「技能・表現」について総合的に評価する。特に、「思考・判断」「興味・関心・意欲・協働」「技能・表現」を重点的に評価する。
出願書類 〔志望理由書〕 〔調査書〕 〔活動報告書〕	「知識・理解」「思考・判断」「興味・関心・意欲・協働」「技能・表現」について総合的に評価する。具体的には、活動報告書は志願者が経験した多様な取組、課題研究及び取得資格などを総合的に評価する。志望理由書は学科アドミッション・ポリシーとの整合性、学習意欲、課題意識、入学後あるいは卒業後の目標などを総合的に評価する。調査書は高等学校における学習などを総合的に評価する。また、面接における参考資料とする。

環境デザイン学科

教科等	採点・評価基準（一般的基準）
小論文	地域的な視点からグローバルな視点における多様な社会の事象や諸問題について、提示された日本語の課題文や資料に対して記述・論述することで、本学部において学ぶために共通して必要な能力である「知識・理解」「思考・判断」「興味・関心・意欲・協働」「技能・表現」を総合的に評価する。
面接	活動報告書、志望理由書、調査書を参考に、これまでの活動、志望理由、学習意欲、目的意識、自然環境や社会環境に対する関心や課題意識などの質問に対する応答及び面接時の態度から、本学部において学ぶために必要な「知識・理解」「思考・判断」「興味・関心・意欲・協働」「技能・表現」について総合的に評価する。
グループ ディスカッション	自然環境や社会環境に関する課題を提示し、その課題についての議論や議論中の態度から、本学部において学ぶために必要な「知識・理解」「思考・判断」「興味・関心・意欲・協働」「技能・表現」について総合的に評価する。特に、「思考・判断」「興味・関心・意欲・協働」「技能・表現」を重点的に評価する。
出願書類 〔志望理由書〕 〔調査書〕 〔活動報告書〕	「知識・理解」「思考・判断」「興味・関心・意欲・協働」「技能・表現」について総合的に評価する。具体的には、活動報告書は志願者が経験した多様な取組、課題研究及び取得資格などを総合的に評価する。志望理由書は学科アドミッション・ポリシーとの整合性、学習意欲、課題意識、入学後あるいは卒業後の目標などを総合的に評価する。調査書は高等学校における学習などを総合的に評価する。また、面接における参考資料とする。

地域資源マネジメント学科

教科等	採点・評価基準（一般的基準）
小論文	<p>地域的な視点からグローバルな視点における多様な社会の事象や諸問題について、提示された日本語の課題文や資料に対して記述・論述することで、本学部において学ぶために共通して必要な能力である「知識・理解」「思考・判断」「興味・関心・意欲・協働」「技能・表現」を総合的に評価する。</p>
面接	<p>活動報告書、志望理由書、調査書を参考に、これまでの活動、志望理由、学習意欲、目的意識、大学で希望する学びなどの質問に対する応答及び面接時の態度から、本学科において学ぶために必要な「知識・理解」「思考・判断」「興味・関心・意欲・協働」「技能・表現」について総合的に評価する。</p>
グループ ディスカッション	<p>地域資源や地域社会に関わる様々な諸事象に関する課題を提示し、その課題についての議論や議論中の態度から、本学科において学ぶために必要な「知識・理解」「思考・判断」「興味・関心・意欲・協働」「技能・表現」について総合的に評価する。特に、「思考・判断」「興味・関心・意欲・協働」「技能・表現」を重点的に評価する。</p>
出願書類 〔志望理由書〕 〔調査書〕 〔活動報告書〕	<p>「知識・理解」「思考・判断」「興味・関心・意欲・協働」「技能・表現」について総合的に評価する。具体的には、活動報告書は志願者が経験した多様な取組、課題研究及び取得資格などを総合的に評価する。志望理由書は学科アドミッション・ポリシーとの整合性、学習意欲、課題意識、入学後あるいは卒業後の目標などを総合的に評価する。調査書は高等学校における学習などを総合的に評価する。また、面接における参考資料とする。</p>

1 出願要件

総合型 I A	<p>次の(1)から(4)の条件をすべて満たす者</p> <p>(1) 以下のいずれかに該当する者</p> <p>① 高等学校を令和9年3月卒業見込みの者</p> <p>② 通常の課程による12年の学校教育を令和9年3月修了見込みの者</p> <p>(2) 愛媛県内の中山間地域や離島などの保健・医療に貢献する強い意志を持ち、将来、それらの地域医療に貢献することを確約できる者</p> <p>(3) 合格した場合は入学を確約できる者</p> <p>(4) 入学後は所定のプログラムの受講を確約できる者</p>
総合型 I B	<p>次の(1)から(2)の条件をすべて満たす者</p> <p>(1) 令和9年4月1日現在、年齢が満21歳以上であり、3年以上社会人としての経験を有する者</p> <p>(2) 以下のいずれかに該当する者</p> <p>① 高等学校を卒業した者又は令和9年3月卒業見込みの者</p> <p>② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は令和9年3月修了見込みの者</p> <p>③ 学校教育法施行規則第150条の規定(第6号を除く。)により、高等学校を卒業した者と同以上の学力があると認められる者又は令和9年3月31日までにこれに該当する見込みの者</p> <p>(注) 定時制、夜間、通信制以外の学校(大学を含む。)の在学期間は、社会人としての経験年数に含まない。</p> <p>※ 学校教育法施行規則第150条第7号により出願する場合は、事前に個別の入学資格審査が必要です。令和8年8月7日(金)までに必要書類を添えて申請してください。(入学資格審査の詳細については、本学Webサイト(https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/guidelines-download/)で公表しています。)</p> <p>なお、申請者は、申請の前に下記まで連絡してください。</p> <p>〒790-8577 松山市文京町3番 愛媛大学教育学生支援部入試課 平日9時～17時：電話 089-927-9172</p>

2 出願期間等

(1) 出願期間

出願情報の登録期間	令和8年8月21日(金) 10時～9月11日(金) 16時
検定料の支払期間	令和8年9月1日(火) 0時～9月11日(金) 16時
出願書類の提出期間	令和8年9月1日(火)～9月11日(金) [9月11日(金)の消印有効]
<p>【留意事項】</p> <p>インターネット出願は、出願情報の登録及び検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了にはなりませんので、出願書類を提出期間内に到着するように郵送してください。</p> <p>なお、出願書類は、出願書類の提出期間内に配達されたもの及び9月12日(土)以降に配達されたもののうち、9月11日(金)以前の日本国内発信局消印があるものを受理します。直接持参しても受理しません。</p>	

(2) 出願手続

詳細については、9ページの「5 出願方法及び出願手続」により手続きを行ってください。

(3) 試験期日

【第1次選抜】令和8年10月3日(土)

【第2次選抜】令和8年10月24日(土)～10月25日(日)

詳細については、34ページの「7 試験期日及び試験時間」を参照してください。

(4) 試験場

医学部で実施します。

詳細については、第1次選抜は令和8年10月2日（金）10時に、第2次選抜は令和8年10月23日（金）10時に医学部試験場前（試験場の位置については、39ページの「14 試験場・試験場案内・交通機関案内」参照）に掲示しますので、確認してください。

(5) 選抜方法等

(1)第1次選抜


面接（出願書類（志望理由書、調査書、活動報告書）は面接に含めて評価する）の結果により選考します。合否判定基準に基づき、募集人員の3倍程度を第1次選抜合格者とします。総合型選抜IB（社会人枠）においては、10人程度を第1次選抜合格者とします。

選抜の結果は、令和8年10月16日（金）に、「速達・簡易書留郵便」で、第1次選抜合格者には、選抜結果通知書、連絡事項を送付します。不合格者には、選抜結果通知書を送付します。

次のWebサイト（運営会社：大学情報センター）で合格者発表を行います。

アドレス（URL）を事前に「お気に入り（ブックマーク）」に登録の上、合格発表後にアクセスしていただくと、早く確認ができますので、事前登録をお願いします。なお、本学Webサイトでの発表は行いませんので、ご留意願います。

Webサイトでの発表は、参考として閲覧の上、必ず選抜結果通知書により確認してください。

Web サイト	https://daigakujc.jp/ehime-u_goukaku/	
掲載期間	令和8年10月16日（金）10時（予定）～10月23日（金）17時	

(注) Webサイトにアクセスが集中し、一時的につながりにくい状態になっている時は、少し時間をおいてから、再度アクセスしてください。

(2)第2次選抜

小論文、課題レポート及びプレゼンテーション（質疑応答を含む。）の結果により、選抜を行います。

なお、課題レポートの事前提出はありません。

(6) 個別学力検査等の配点

個別学力検査等	面接	小論文※	課題レポート及びプレゼンテーション (質疑応答を含む。)	計
第1次選抜	100	—	—	100
第2次選抜	—	100	200	300

※和文と英文による小論文（解答は和文による）

(7) 個別学力検査等の採点・評価基準

総合型選抜 I A (地域特別枠)

教科等	採点・評価基準（一般的基準）
小論文	文章の内容や意味を正しく捉え、内容を論理的に考察し、自分の考えを論理的にまとめて表現できる能力などを総合的に採点・評価する。
面接	面接時の態度や質問に対する応答をもとに、愛媛県の中山間地域等の地域医療に貢献できる看護の専門職を目指すという目的意識や情熱、人や人の暮らし及び看護に関する関心や知識、社会性や協調性、思考力や表現力などを総合的に判断して採点・評価する。
課題レポート及び プレゼンテーション (質疑応答を含む。)	試験時に提示した中山間地域等に住む人や人の暮らしに関する課題についてのレポートの記載内容及びその論述内容のプレゼンテーション（質疑応答を含む。）をもとに、中山間地域等に住む人や人の暮らし及び看護に関する関心や知識、思考力、表現力等を総合的に判断して採点・評価する。
出願書類 (志望理由書 調査書 活動報告書)	出願書類のうち、確約書を除く、志望理由書、調査書、活動報告書を面接に含めて評価する。

総合型選抜 I B (社会人枠)

教科等	採点・評価基準（一般的基準）
小論文	文章の内容や意味を正しく捉え、内容を論理的に考察し、自分の考えを論理的にまとめて表現できる能力などを総合的に採点・評価する。
面接	面接時の態度や質問に対する応答をもとに、社会人として人の暮らしや医療への貢献を目指すという目的意識や情熱、人や人の暮らし及び看護に関する関心や知識、社会性や協調性、思考力や表現力などを総合的に判断して採点・評価する。
課題レポート及び プレゼンテーション (質疑応答を含む。)	試験時に提示した人や人の暮らしに関する課題についてのレポートの記載内容及びその論述内容のプレゼンテーション（質疑応答を含む。）をもとに、人や人の暮らし及び看護に関する関心や知識、思考力、表現力等を総合的に判断して採点・評価する。
出願書類 (志望理由書 調査書 活動報告書)	面接に含めて評価する。

工学科	機械工学コース
//	知能システム学コース
//	化学・生命科学コース
//	海事産業特別コース

1 出願要件

機械工学コース	<p>高等学校の普通科、工業に関する学科又はそれに準ずる課程を令和9年3月卒業見込みの者で、次の全ての条件に該当するもの</p> <p>(1) 機械工学コースを志望する動機が明確であり、機械工学の知識・技術を活用して社会で活躍する意思のある者</p> <p>(2) 合格した場合は入学を確約できる者</p>
知能システム学コース	<p>高等学校の普通科、工業に関する学科又はそれに準ずる課程を令和9年3月卒業見込みの者で、次の全ての条件に該当するもの</p> <p>(1) 知能システム学コースを志望する動機が明確であり、知能システム学の知識・技術を活用して社会で活躍する意思のある者</p> <p>(2) 合格した場合は入学を確約できる者</p>
化学・生命科学コース	<p>次の(1)から(3)までのいずれかに該当し、①及び②の条件を満たす者</p> <p>(1) 高等学校を卒業した者又は令和9年3月卒業見込みの者</p> <p>(2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は令和9年3月修了見込みの者</p> <p>(3) 学校教育法施行規則第150条の規定(第6号を除く。)により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者又は令和9年3月31日までにこれに該当する見込みの者</p> <p>① 化学・生命科学コースを志望する動機が明確であり、化学・生命科学の知識・技術を活用して社会で活躍する意思のある者</p> <p>② 合格した場合は入学を確約できる者</p> <p>※ 学校教育法施行規則第150条第7号により出願する場合は、事前に個別の入学資格審査が必要です。令和8年9月4日(金)までに必要書類を添えて申請してください。(入学資格審査の詳細については、本学Webサイト(https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/guidelines-download/)で公表しています。)</p> <p>なお、申請者は、申請の前に下記まで連絡してください。</p> <p>〒790-8577 松山市文京町3番 愛媛大学教育学生支援部入試課 平日9時～17時：電話 089-927-9172</p>
海事産業特別コース	<p>高等学校を令和9年3月卒業見込みの者で、次の全ての条件に該当するもの</p> <p>(1) 海事産業特別コースを志望する動機が明確であり、海事産業の知識・技術を活用して社会で活躍する意思のある者</p> <p>(2) 合格した場合は入学を確約できる者</p>

2 出願期間等

(1) 出願期間

出願情報の登録期間	令和8年9月7日(月) 10時～9月25日(金) 16時
検定料の支払期間	令和8年9月18日(金) 0時～9月25日(金) 16時
出願書類の提出期間	令和8年9月18日(金)～9月25日(金) [9月25日(金)の消印有効]
<p>【留意事項】</p> <p>インターネット出願は、出願情報の登録及び検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了にはなりませんので、出願書類を提出期間内に到着するように郵送してください。</p> <p>なお、出願書類は、出願書類の提出期間内に配達されたもの及び9月26日(土)以降に配達されたもののうち、9月25日(金)以前の日本国内発信局消印があるものを受理します。直接持参しても受理しません。</p>	

(2) 出願手続

詳細については、9 ページの「5 出願方法及び出願手続」により手続を行ってください。

(3) 試験期日

令和8年10月17日(土)

詳細については、34 ページの「7 試験期日及び試験時間」を参照してください。

(4) 試験場

工学部で実施します。

詳細については、令和8年10月16日(金)10時に工学部試験場前(試験場の位置については、39 ページの「14 試験場・試験場案内・交通機関案内」参照)に掲示しますので、確認してください。

(5) 選抜方法等

【機械工学コース、知能システム学コース、海事産業特別コース】

面接(口頭試問を含む。)の結果及び提出された出願書類(志望理由書、調査書、活動報告書)の内容により、合否判定基準に基づき判定します。

なお、面接は数学(数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B*、数学C*)、物理(物理基礎)に関する口頭試問を含みます。

* 数学Bの範囲は「数列」、数学Cの範囲は「ベクトル」とします。

【化学・生命科学コース】

面接(口頭試問を含む。)の結果及び提出された出願書類(志望理由書、調査書、活動報告書)の内容により、合否判定基準に基づき判定します。

なお、面接は本コースに関する口頭試問(化学、化学基礎に関する口頭試問)を含みます。

(6) 個別学力検査等の配点

コース \ 教科等	面接	出願書類 (志望理由書 調査書 活動報告書)	計
機械工学コース	400	200	600
知能システム学コース	400	200	600
化学・生命科学コース	550	50	600
海事産業特別コース	400	200	600

(7) 個別学力検査等の採点・評価基準

機械工学コース

教科等	採点・評価基準(一般的基準)
面接	基礎的知識・学力、目的意識、勉学意欲、自己表現力などについて総合的に評価する。
出願書類 (志望理由書 調査書 活動報告書)	「知識・理解」、「思考・判断、技能・表現」、「興味・関心・意欲、態度」、「主体性・多様性・協働性」について評価する。具体的には、志望理由書は学習意欲、入学後あるいは卒業後の目標などを総合的に評価する。調査書は高等学校における学業成績、人物、特別活動、進路・動機などを総合的に評価する。活動報告書は志願者が主体的、意欲的に活動した多様な取組(課題研究を含む。)及び取得資格などを総合的に評価する。なお、志望理由書・調査書・活動報告書は面接における参考資料となる。

知能システム学コース

教科等	採点・評価基準（一般的基準）
面接	基礎的知識・学力、目的意識、勉学意欲、自己表現力などについて総合的に評価する。
出願書類 〔志望理由書 調査書 活動報告書〕	「知識・理解」、「思考・判断、技能・表現」、「興味・関心・意欲、態度」、「主体性・多様性・協働性」について評価する。具体的には、志望理由書は学習意欲、入学後あるいは卒業後の目標などを総合的に評価する。調査書は高等学校における学業成績、人物、特別活動、進路・動機などを総合的に評価する。活動報告書は志願者が主体的、意欲的に活動した多様な取組(課題研究を含む。)及び取得資格などを総合的に評価する。なお、志望理由書・調査書・活動報告書は面接における参考資料となる。

化学・生命科学コース

教科等	採点・評価基準（一般的基準）
面接	基礎的知識・学力、目的意識、勉学意欲、自己表現力などについて総合的に評価する。
出願書類 〔志望理由書 調査書 活動報告書〕	「知識・理解」、「思考・判断、技能・表現」、「興味・関心・意欲、態度」、「主体性・多様性・協働性」について評価する。具体的には、志望理由書は学習意欲、入学後あるいは卒業後の目標などを総合的に評価する。調査書は高等学校における学業成績、人物、特別活動、進路・動機などを総合的に評価する。活動報告書は志願者が主体的、意欲的に活動した多様な取組及び取得資格などを総合的に評価する。特に、広い意味での科学分野とりわけ化学・生命科学に関して意欲的に取り組んだ活動（例：研究活動、探求活動、課外活動、発表等）を重視する。なお、志望理由書・調査書・活動報告書は面接における参考資料となる。

海事産業特別コース

教科等	採点・評価基準（一般的基準）
面接	基礎的知識・学力、目的意識、勉学意欲、自己表現力などについて総合的に評価する。
出願書類 〔志望理由書 調査書 活動報告書〕	「知識・理解」、「思考・判断、技能・表現」、「興味・関心・意欲、態度」、「主体性・多様性・協働性」について評価する。具体的には、志望理由書は学習意欲、入学後あるいは卒業後の目標などを総合的に評価する。調査書は高等学校における学業成績、人物、特別活動、進路・動機などを総合的に評価する。活動報告書は志願者が主体的、意欲的に活動した多様な取組(課題研究を含む。)及び取得資格などを総合的に評価する。なお、志望理由書・調査書・活動報告書は面接における参考資料となる。

7 試験期日及び試験時間

学 部	学 科 等		試 験 期 日 等
教育学部	学校教育実践コース	特別支援教育サブコース	令和8年10月17日(土)9:00～10月18日(日)面接
		小学校教育サブコース	
	初等中等教科コース	言語社会教育サブコース	
		科学教育サブコース	
		生活健康・芸術教育サブコース	
社会共創学部	産業イノベーション学科		令和8年10月17日(土)9:00～10月18日(日)小論文(80分)、面接、グループディスカッション
	環境デザイン学科		
	地域資源マネジメント学科		
医学部	看護学科		(第1次選抜) 令和8年10月3日(土)9:00～面接 (第2次選抜) 令和8年10月24日(土)9:00～10月25日(日)小論文(120分)、課題レポート作成、プレゼンテーション準備(30分)、プレゼンテーション プレゼンテーションは、作成いただいた課題レポートに沿って行っていただきます。
工学部	工学科	機械工学コース	令和8年10月17日(土)9:00～面接(口頭試問を含む。)
		知能システム学コース	
		化学・生命科学コース	
		海事産業特別コース	

注1 集合時間等については、ダウンロードした「受験票」の2枚目以降の連絡事項に記載されていますので、必ず確認してください。

注2 受験票については、受験票ダウンロード期間内にインターネット出願サイトにログイン後、ダウンロードし、A4サイズで片面印刷してください。試験当日は、印刷した受験票を持参してください(12ページ参照)。

なお、受験票は入学手続及び入学試験個人成績開示請求の際にも必要になりますので、試験終了後も大切に保管しておいてください。

注3 教育学部・社会共創学部では、志願者数により、2日目は実施しない可能性があります。なお、面接では、控室での待機が長時間におよぶことがあります。

また、社会共創学部で実施するグループディスカッションにおいても、同様に控室での待機が長時間におよぶことがあります。日程等の詳細についてはダウンロードした「受験票」の2枚目以降の連絡事項をご確認ください。

注4 医学部では、面接、プレゼンテーションの際に、控室での待機が長時間におよぶことがあります。日程等の詳細についてはダウンロードした「受験票」の2枚目以降の連絡事項をご確認ください。

8 合否判定基準

[○印が当該事項に該当することを示す。]

事項 学部等	合 否 判 定 基 準		
	総合点で合否を判定する。	原則として総合点で合否を判定するが、ある科目の成績が水準以下の場合、総合点の如何にかかわらず不合格となることがある。	同点者の順位決定基準
教育学部		面接の評価が著しく低い場合	同点者は、面接の得点により順位を付ける。
社会共創学部		面接の評価が著しく低い場合	同点者は、同順位とする。
医学部		面接、課題レポート及びプレゼンテーションの評価あるいは小論文の得点が著しく低い場合	第1次選抜 同点者は、同順位とする。 第2次選抜 ①同点者は、課題レポート及びプレゼンテーションの得点により順位を付ける。 ②課題レポート及びプレゼンテーションの得点が同点の場合は、面接の得点（第1次選抜）が高い順とする。
工学部		面接の評価が著しく低い場合	同点者は、同順位とする。

9 受験上の注意

- 試験当日は、指定された時刻までに間に合うよう、時間に余裕をもって試験場に到着し、指定された試験室に入室してください。
- 試験開始時刻に遅刻した場合は、各学部の試験場入口の係員に申し出てください。試験開始時刻後30分以内の遅刻に限り、受験を認めます。なお、試験時間の延長は行いません。ただし、面接等では別途、学部ごとに指示を行う場合がありますので、「愛媛大学受験票」と同時に印刷する連絡事項を確認してください。また、公共交通機関の遅延や事故等により、指定された時刻までに試験場に到着することが困難な場合には、当該時刻までに受験する学部へ連絡するとともに、試験場でもその旨を申し出てください。この場合、公共交通機関の遅延や事故等を証明する書類（遅延証明書等）の交付を受けてください。
- 試験時間中、机の上に置けるものは、愛媛大学受験票のほか、黒鉛筆（シャープペンシルも可。ただし、シャープペンシルの芯ケースは、かばんに入れておくこと。）、鉛筆キャップ、プラスチック製の消しゴム、鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ等を除く。）、時計（辞書、電卓、端末、通信機能等があるもの（スマートウォッチ等）・それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものを除く。）、眼鏡、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー（袋から中身だけ取り出したもの）です。これら以外の所持品を置いてはいけません。これら以外のものは、かばんにしまい各自の机の横又は椅子の下に置いてください。
※定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具は使用できません。
- 試験時間中に、携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末・タブレット端末・電子辞書・ICレコーダー・イヤホン・音楽プレーヤー等の電子機器類を使用してはいけません。これらの電子機器類をかばんにしまわず、身につけていたり手に持っている不正行為となることがあります。なお、イヤホンについては耳に装着していれば使用しているものとして不正行為となります。（試験時間中、補聴器等を使用したい場合は、受験上の合理的配慮申請が必要です。37ページ「12 合理的配慮を希望する入学志願者の出願」を参照してください。）試験時間中に使用してはいけない電子機器類は、試験室に入る前に必ずアラーム等の設定を解除し電源を切っておいてください。これらを時計として使用することはできません。
- 試験室内では、漢字、英文字や地図等がプリントされている上着等は着用しないでください。
- 座布団及びひざ掛け（コート類をひざ掛けとして使用する場合も含む。）で漢字、英文字や地図等がプリントされていないものは使用を認めます。

健康上その他やむを得ない理由により、上記以外のものを使用したい場合は、監督者の指示に従ってください。

- (7) 試験時間中に監督者が、出願時に提出した顔写真との照合を行います。マスクや眼鏡等について一時的に外すよう監督者が指示する場合がありますので、指示に従ってください。
- (8) 解答用紙には受験番号を記入し、氏名は記入しないでください。
- (9) 不正行為を行った場合は、その時点で受験を取りやめさせ、退室させます。その場合は、以後の受験はできなくなるとともに、受験したすべての教科・科目の成績を無効とします。なお、不正行為については、状況により警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。

10 合格者発表等

- (1) 合格者発表の日時
令和8年11月4日（水）10時
医学部第1次選抜の結果発表については、29ページを参照してください。
- (2) 合格者発表の方法
 - 1) 合格者には、合格者発表日に、合格通知書、入学手続関係書類をレターパックプラス（配達手渡しで、受取時に印鑑が必要）で郵送します。合格者の発表は、送付された合格通知書が正式なものとなりますので、必ず「合格通知書」で確認してください。
 - 2) 次のWebサイト（運営会社：大学情報センター）で合格者発表を行います。アドレス（URL）を事前に「お気に入り（ブックマーク）」に登録の上、合格者発表後にアクセスしていただくと、早く確認ができますので、事前登録をお願いします。なお、本学Webサイトでの発表は行いませんので、ご留意願います。

Webサイトでの発表は、参考として閲覧の上、必ず合格通知書により確認してください。

Webサイトに受験番号が掲載されているにもかかわらず、合格者発表日から3日経っても届かない場合は、受験した学部の入試係（43ページ「18 入学試験に関する照会先」参照）にお問い合わせください。

Webサイト (携帯電話・パソコン共通)	https://daigakujc.jp/ehime-u_goukaku/	
-------------------------	---	---

掲載期間	令和8年11月4日（水）10時（予定）～令和8年11月17日（火）17時
------	--------------------------------------

(注) Webサイトにアクセスが集中し、一時的につながりにくい状態になっている時は、少し時間をおいてから、再度アクセスしてください。

電話等による合否結果の照会には、一切応じられません。

11 留意事項

- (1) この総合型選抜Ⅰでは、各学部・学科等で学ぶために必要不可欠な資質を評価・審査するので、合格者数が募集人員に満たない場合があります。
また、入学手続者が募集人員に満たない場合でも、追加合格は行いません。
- (2) 本選抜に合格し入学手続を完了した者は、国公立大学の一般選抜の合格者とはなりません。
- (3) 合格者は、入学手続期間内に入学手続を行わなかったときは、入学を辞退したものとして取り扱います。
- (4) 本選抜の合格者で、やむを得ない事情により入学を辞退する者は、入学手続期間中に所定の手続きを行わない場合には、国公立大学の一般選抜を受験しても合格者とはなりません。
- (5) 入学手続完了者でやむを得ない事情により入学を辞退する者は、入学手続期間中にその理由を明記した「入学辞退願」を本学へ提出し、入学辞退の許可を得なければ、国公立大学の一般選抜を受験しても合格者とはなりません。
- (6) 国公立大学の一般選抜における合格決定業務を円滑に行うため、氏名、性別、生年月日、高等学校等コードに限り、総合型選抜の合格及び入学手続等に関する個人情報、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。
- (7) 入学手続完了後でも、高等学校を卒業しない等の事由が生じた場合は、入学許可を取り消します。

12 合理的配慮を希望する入学志願者の出願

本学では、病気・負傷や障害等がある者が、受験上及び修学上不利になることがないように、合理的配慮の提供を行っており、そのための相談を随時受け付けています。

受験の際に必要な合理的配慮については、内容によって対応に時間を要することもありますので、出願する前のできるだけ早い時期に志望学部の入試係まで相談してください。

また、相談は志願者本人、保護者及び担任教諭等、本人の状態を詳しく説明できる者が行ってください。

(1) 受験上の合理的配慮の申請について

受験上の合理的配慮の提供を必要とする者は、以下の書類を出願書類とあわせて提出してください。

なお、出願後、事故等により受験上の合理的配慮が必要になった場合、又は出願の期限までに提出が困難な場合は、早急に志望学部の入試係までご連絡ください。

また、通常と異なる解答方法を希望される場合には、対応に時間を要するため、出願前のできるだけ早い時期に申請するようお願いいたします。

書 類 等	障害者手帳所持者	障害者手帳不所持者
受験上の合理的配慮希望申請書 (https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/guidelines-download/)	○	○
障害者手帳（身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳）の写し	○	×
受験上で必要な合理的配慮に関する診断名が記載された医師の診断書もしくは意見書の写し	○	○
大学入試センターから送付された「受験上の配慮事項決定通知書」の写し（大学入学共通テスト受験者のみ）	○	○

(注) 日常生活において使用している補聴器、杖、車椅子等についても、受験上の合理的配慮の申請が必要となります。なお、座布団、ひざ掛け、タオル（サイズは問わない。）、ティッシュペーパー（袋から中身だけ取り出したもの）、ハンカチ、目薬については、受験上の合理的配慮の申請は不要です。

(2) 受験上の合理的配慮の決定通知

提出された書類により、受験上の合理的配慮を決定し、決定された合理的配慮の内容は、申請者に郵送で通知します。

なお、決定の際に不明な点がある場合には、別途確認の連絡を行うことがあります。

(3) 連絡及び提出先

志望学部の入試係（43ページ「18 入学試験に関する照会先」参照）

13 入学手続及び初年度の諸経費

(1) 入学手続

合格者は、入学手続期間内に入学手続を行ってください。

詳細については、合格者発表日に郵送する入学手続関係書類で確認してください。

① 入学手続期間

令和8年11月4日（水）～11月16日（月）17時必着（郵送のみ）

② 入学手続書類等

書 類 等	摘 要
保証書	本学所定の用紙に必要事項を記入したもの
令和9年度 愛媛大学受験票	出願サイトからダウンロードして印刷したもの（入学手続完了後に返還します。）
入学資格証明書	卒業証明書又はこれに代わる証明書（卒業証書不可） 在学中の者は、卒業後に提出してください。
住民票の写し （日本国籍を有しない者のみ）	市区町村長が発行したもの（日本国籍を有しない者のみ提出してください。）
入学料等	38ページ「(2) 初年度の諸経費」を参照

③ 入学手続の方法

入学手続の一部をインターネットにより行います。合格者は、入学手続専用サイトから必要情報の登録、入学料の納付を行い、入学手続書類に必要事項を記入の上、前記②の入学手続書類等を一括して、9ページ記載の「(3) 出願書類の送付先」へ、「速達・簡易書留郵便」で郵送してください。

郵送する際に、入学手続期間内に必着することを郵便局で必ず確認してください。直接持参しても受理しません。

④ 注意事項

合格者は、いかなる理由があっても、入学手続期間内に入学手続を行わなかった場合は、入学辞退者として取り扱います。

(2) 初年度の諸経費

初年度に必要な諸経費は、おおむね次のとおりです。

学 部	入学料	授業料	その他の経費	合計金額
教育学部	282,000円	年額 535,800円 （前期分 267,900円） （後期分 267,900円）	64,660円	882,460円
社会共創学部			64,660円	882,460円
医学部			86,370円	904,170円
工学部			64,660円	882,460円

注1 入学料及び授業料の額は、令和8年度納付額であり、令和9年度は改定になる場合があります。

注2 その他の経費は、学生教育研究災害傷害保険料、後援会費及び校友会費等の合計金額（金額については変更される場合があります。）です。

(3) 納付金の納入

① 入学料282,000円

納入期間入学手続期間

② 授業料前期分267,900円〔年額535,800円〕

注1 納入期間等については、合格通知の際にお知らせします。

注2 在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定後の授業料を適用します。

(4) 入学手続等の詳細については、合格通知の際にお知らせします。

14 試験場・試験場案内・交通機関案内

試験場

学部	図標示	試験場	所在地
教育学部	①	城北キャンパス	松山市文京町3番
社会共創学部			
工学部			
医学部	②	重信キャンパス	東温市志津川

試験場案内



① 教育学部、社会共創学部、工学部

城北キャンパス



注 試験場は予定であり、変更になる可能性があります。試験場については、受験票ダウンロード期間中にダウンロードした「受験票」の連絡事項をご確認ください。

〔アクセス〕

● JR松山駅から

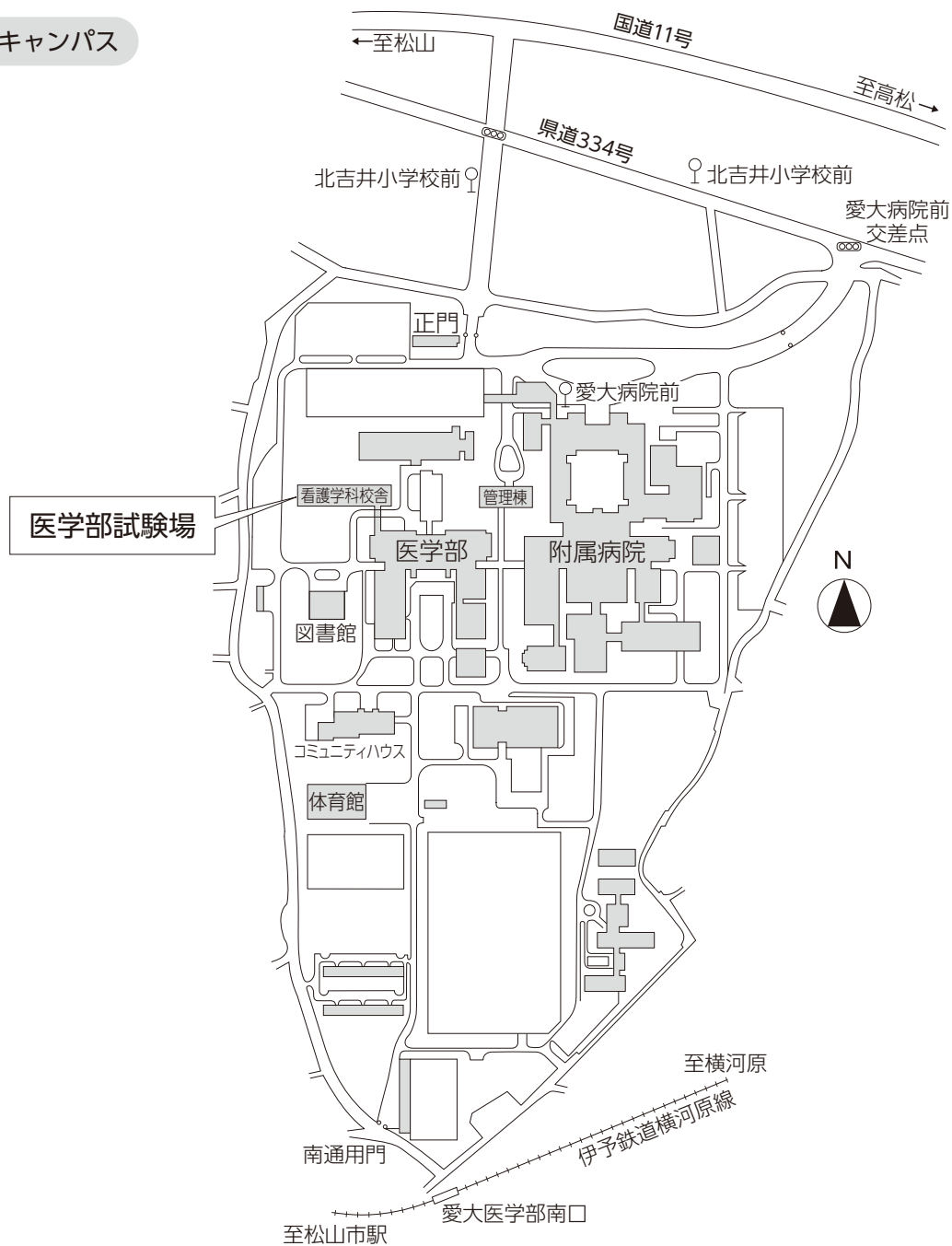
伊予鉄道市内電車 ①番環状線 JR松山駅前から古町回り松山市駅行き 乗車約18分
赤十字病院前下車 北へ徒歩3分

● 松山市駅から

伊予鉄道市内電車 ②番環状線 松山市駅から大街道回り 乗車約16分 赤十字病院前下車 北へ徒歩3分
①番環状線 松山市駅からJR松山駅前回り 乗車約28分
赤十字病院前下車 北へ徒歩3分

② 医学部

重信キャンパス



[アクセス]

● JR松山駅から

伊予鉄道郊外電車 大手町 (JR松山駅から東へ徒歩5分) から横河原行き 乗車約32分
愛大医学部南口下車 北へ徒歩5分

● 松山市駅から

伊予鉄道郊外電車 松山市駅から横河原行き 乗車約28分 愛大医学部南口下車 北へ徒歩5分
伊予鉄郊外バス 松山市駅から川内方面行き 乗車約35分 愛大病院前下車 徒歩すぐ

● 松山観光港から

伊予鉄バス 高浜駅前行き 乗車約2分 高浜駅前乗り換え
伊予鉄道郊外電車 高浜から横河原行き 乗車約60分 愛大医学部南口下車 北へ徒歩5分

15 入学試験個人成績の開示

本学では、入学試験の個人成績及び総合点の順位を受験者本人に限って開示します。令和9年度入学試験の個人成績の開示は、次のとおり行いますので、希望者は期間内に申し込んでください。

ただし、面接、課題レポート、プレゼンテーション、グループディスカッション、口頭試問及び調査書等の出願書類については、A（期待される水準を上回っている）、B（期待される水準に達している）、C（期待される水準を下回っている）による段階評価を開示します。

請求者：受験者本人に限ります。（代理人は不可）

請求期間：令和9年5月1日(土)～令和9年5月31日(月)

郵送による請求のみとし、この期間内の消印があるものに限り受け付けます。

請求方法：開示請求書により、令和9年度愛媛大学受験票と、460円分の切手を貼付し自己のあて先を明記した返信用封筒（長形3号：12cm×23.5cm）を同封して、受験した学部の入試係（43ページ「18 入学試験に関する照会先」参照）へ請求してください。

開示請求書は、本学 Web サイト（<https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/results-release/>）からダウンロードできます。

※請求書等に不備がある場合は、開示することができません。不備がある場合は、請求書に記載されている連絡先に電話連絡をするので、必ず連絡の取れる連絡先を明記してください。

開示方法：令和9年6月中旬頃、受験者本人あてに、郵送された受験票とともに、簡易書留郵便で送付します。

16 試験問題、正解又は解答例、出題意図の公表について

試験問題は、令和9年5月下旬以降に本学 Web サイト「入学試験問題の公表」(<https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/past-exam/>) で公表します。正解又は解答例、出題意図については、準備ができ次第、本学 Web サイトで公表します。

解答例は、標準的な解答例を示しています。

著作権の関係上、問題の一部を掲載していないものがあります。



17 個人情報の取扱い

本学では、出願受付を通じて取得した氏名、住所等の個人情報は、本学における出願の事務処理、出願書類等に不備があった場合の連絡、試験の実施、合格者発表、合格された場合の入学手続関係書類の送付等のために利用します。

なお、出願書類等に不備があった場合には、その訂正・補完を迅速に行っていただくために、本学を受験されること及び提出した出願書類等に不備があることを、保護者等又は所属学校に通知する場合があります。

また、本選抜に係る個人情報は、合格者の入学後の教務関係（学籍、修学指導等）、学生支援関係（健康管理、奨学金申請等）、授業料等に関する業務及び調査・研究（入試の改善や志願動向の調査・分析等）を行う目的をもって本学が管理します。他の目的での利用及び本学の関係教職員以外への提供は行いません。

18 入学試験に関する照会先

入試に関する電話による照会（お問い合わせ）は、月曜日から金曜日まで（祝日・年末年始を除く。）の9時から17時までの間とし、原則として志願者本人が行ってください。

なお、インターネット出願の操作方法・支払方法に関するお問い合わせは、出願操作サポート窓口（コールセンター）（13ページ参照）へ連絡してください。

学 部	所 在 地	電話番号
教 育 学 部	〒790-8577 松山市文京町3番 愛媛大学教育学部入試係	089-927-9377
社 会 共 創 学 部	〒790-8577 松山市文京町3番 愛媛大学社会共創学部入試係	089-927-9019
医 学 部	〒791-0295 東温市志津川 愛媛大学医学部入試係	089-960-5869
工 学 部	〒790-8577 松山市文京町3番 愛媛大学工学部入試係	089-927-9697
入 試 課	〒790-8577 松山市文京町3番 愛媛大学教育学生支援部入試課	089-927-9172

Webでのお問い合わせは、下記をご利用ください。

入試情報についてのお問い合わせ（URL）

<https://www.ehime-u.ac.jp/mail-contact/form-entrance/>

19 入試情報サービス

■愛媛大学受験情報サイト (https://juken.ehime-u.ac.jp)	
入試日程、学生募集要項、オープンキャンパス、進学相談会など受験にかかわる情報に加え、学びと研究、大学生活、卒業後の進路など、本学の情報を幅広く提供しています。	
■入学試験実施統計 (https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/entrance-exam-statistics/)	
過去7年分の入学試験実施統計（選抜別の実施状況や当初合格者の成績、都道府県別入学者数など）を掲載しています。	
■インターネット出願 (https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/online-application/)	
一般選抜、総合型選抜、学校推薦型選抜への出願は、出願期間内に、インターネット出願サイトから行います。出願前に、動画「インターネット出願の使い方」の視聴や学生募集要項に記載されるインターネット出願の操作方法を確認することをお勧めします。	
■がんばれ国公立大学受験生!! (https://daigakuic.jp/ehime-u/)	
イベント・トピックス、入試情報、大学の特長・沿革、学部・学科情報、大学生活、キャリア・就職支援等の情報を提供しています。 （運営：大学情報センター）	

■学生募集要項等の提供時期

大学ガイドブック（大学案内）・学生募集要項等は、受験情報サイトから閲覧・ダウンロードができます。大学ガイドブック（大学案内）等を資料請求される場合は、愛媛大学 Web サイトの「資料請求」(<https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/document-request/>) からお手続きをしてください。

大学ガイドブック（大学案内）・学生募集要項等	提供開始予定時期
大学ガイドブック（大学案内） 学部ガイドブック（学部案内） 法文学部案内、教育学部案内、社会共創学部案内、理学部案内、 医学部看護学科案内、工学部案内、農学部案内	提供中
入学者選抜要項 ^(注1)	提供中
学生募集要項 総合型選抜 I ^(注2)	提供中
学生募集要項 私費外国人留学生選抜、 渡日前入学許可制度による私費外国人留学生選抜、社会人選抜	令和8年9月上旬～
学生募集要項 総合型選抜 II ^(注2) 、学校推薦型選抜 I・II ^(注2)	令和8年9月中旬～
学生募集要項 一般選抜 ^(注2)	令和8年11月上旬～

(注1) 印刷物（冊子）での配布は行っていません。

(注2) インターネット出願のみ。印刷物（冊子）での配布は行っていません。

20 「入試過去問題活用宣言」への参加

本学は、「入試過去問題活用宣言」に参加しており、アドミッション・ポリシーを実現するため必要と認める範囲で「宣言参加大学」の入試過去問題あるいは類似問題を使用して出題することがあります。ただし、必ず使用するとは限りません。

入試過去問題を使用した場合は、入試終了後、本学の Web サイトで公表します。

なお、「入試過去問題活用宣言」の詳細は、「入試過去問題活用宣言」Web サイト (<https://www.nyushikakomon.jp>) にて公表しています。